

学修の手引き

第 2 学 年
(Segment 3)

令和 6 (2024) 年度



東京女子医科大学
医 学 部

目 次

東京女子医科大学設立の精神	1
東京女醫學校設立主意	2
序 言	3
東京女子医科大学の目的	4
東京女子医科大学医学部における4つのポリシー	5
MDプログラム2011改訂版について	9
学部教育を通じて達成する医師としての実践力	10
医の実践力_アウトカム・ロードマップ	12
慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ	15
カリキュラムの構造	17
週間の授業予定	18
セグメント3	
I 学修内容	20
II 到達目標	
A. 包括的到達目標	21
B. 科目別シラバス	
・基幹科目	
「人体発生・比較発生」	23
「人体全体構造」	35
「生体画像の基本」	62
「病因と病態」	70
「治療の基礎」	79
・縦断教育科目	
「『至誠と愛』の実践学修」	94
「国際コミュニケーション」	117
「健康管理」	122
III 試験科目表・試験日程表	126
IV テュートリアル・TBL学修	
1 テュートリアル・TBL	128
2 テュートリアル・TBLについて	131

3	テュートリアル・T B L 課題一覧表	136
4	リソースパースン一覧表	137
V	S 3 教育委員会・学生アドバイザー・学生委員	139
VI	講義・実習時間割表	140

東京女子医科大学設立の精神

I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年（明治33年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年（昭和27年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年（平成10年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

II. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアラシヤ蓋シ一步ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音樂學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ從事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス淺學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主 鷺山彌生 識

序 言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは2017年度に改訂されたMDプログラム2011(2011年度1年生より導入)であるが、その原形は1990年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育(その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして2018年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展)、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MDプログラム2011では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師の活躍しうる様々な分野で、必要な基本的知識、技術及び態度を身に体し、生涯に亘って学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力及び継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題にとり組むにあたっては、自然科学に留まらず、心理的、社会的、倫理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人と対応できる全人的医療人として素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における 人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条 本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条 医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

- (1) 「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。
 - (2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。
- 2 医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。
- (1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。
 - (2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断のカリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT (Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC (Clinical Clerkship) OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していかうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる強い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修

して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（「至誠と愛」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3親等以内の親族に本学医学部同窓会至誠会の会員または準会員がおり、高等学校等の推薦に加えて、至誠会の推薦を受けた者を対象として、面接、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 (機関レベル)	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ 共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与(卒業)率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査

		活動状況	
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文のIF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

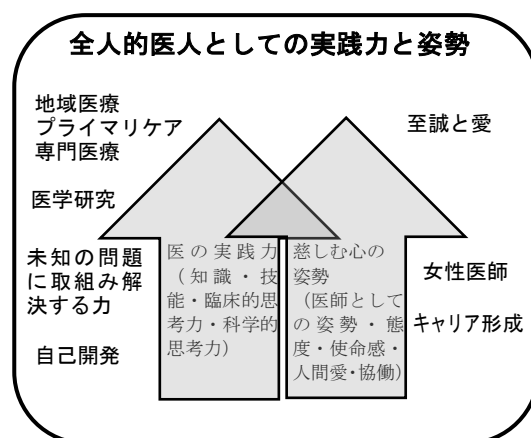
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・チュートリアル・TBL 教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時まで達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2年）、中学年（3/4年）、高学年（5/6年）で達成すべき具体的な目標をロードマップとして表している。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

I 医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力
 - A. 医学的知識を医療に活用できる。
 - B. 診断・治療・予防を実践できる。
 - C. 基本的技能を実践できる。
2. 問題を見つけ追求する力
 - A. 解決すべき問題を発見できる。
 - B. 問題を深く追求できる。
 - C. 未知の問題に取り組むことができる。
3. 問題解決に向け考え実行する力
 - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
 - B. 解決方法を選び実行できる。
 - C. 結果を評価できる。
4. 情報を伝える力
 - A. 患者に情報を伝えることができる。
 - B. 医療情報を記録できる。
 - C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
 - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
 - B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
 - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
 - B. 医療倫理を理解し実践できる。
 - C. 研究倫理を理解し実践できる。
 - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

II 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
 - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
 - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
 - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
 - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
 - B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。
 - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
 - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
 - E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
 - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
 - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
 - A. 自分の判断を説明できる。
 - B. グループを先導できる。
 - C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
 - A. 患者に希望を与えられる。
 - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム/ロードマップ

		2. 問題を見つけ追求する力				
1. 知識と技能を正しく使う力		A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。		
アウトカム 1,2年 ロードマップ	<p>A. 医学的知識を医療に活用できる。</p> <p>① 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>② 人体の構造と機能に異常が起る原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③</p> <p>④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。 I-1-A-(1-2)-④</p>	<p>B. 診断・治療・予防を実践できる。</p> <p>① データを読み解き実践できる。 I-1-B-(1-2)-①</p>	<p>C. 基本的技能を実践できる。</p> <p>① 実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>② 安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p>	<p>A. 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。</p> <p>I-2-A-(1-2)-①</p>	<p>B. 問題を深く追求できる。</p> <p>① 仮説を導くことができる。 I-2-B-(1-2)-①</p> <p>② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 未知の問題に取り組むことができる。</p> <p>① 既知と未知の問題を明らかにできる。 I-2-C-(1-2)-①</p> <p>② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②</p>
3,4年 ロードマップ	<p>① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③</p> <p>④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p>	<p>① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</p> <p>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p>	<p>① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>② 未知の問題を解決する方法を見つけたことができる。 I-2-C-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①</p>	<p>① 基本的医療技能を実践できる。 I-1-C-(5-6)-①</p> <p>② 安全に配慮して、医療を実践できる。 I-1-C-(5-6)-②</p>	<p>① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-①</p> <p>② 患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②</p>	<p>① 患者の病態の原因を検索できる。 I-2-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「ところ」から説明できる。 I-2-B-(5-6)-②</p>	<p>① 患者から新しいことを学べる。 I-2-C-(5-6)-①</p> <p>② 患者から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(5-6)-②</p> <p>③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。 I-2-C-(5-6)-③</p>	

		4. 情報を伝える力			
3. 根拠に基づいた判断を行う力		A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。	
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。		
1,2年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。 I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考へることができる。 I-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考へられる。 I-3-C-(1-2)-②	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③	
3,4年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②	
5,6年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③	① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。 I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④	

		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
		5. 根拠に基づいた判断を行う力		C. 研究倫理を理解し実践できる。	
		A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。		D. 社会の制度に沿った診療を行える。	
		B. 根拠に基づいて診療を行える。			
		A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。			
アウトカム					
1,2年 ロードマップ	<p>A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。</p> <p>① 現象の原因・機序を検索できる。 I-5-A-(1-2)-①</p> <p>② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。 I-5-A-(1-2)-②</p> <p>③ 情報の信頼度を評価できる。 I-5-A-(1-2)-③</p>	<p>B. 根拠に基づいて診療を行える。</p> <p>① 根拠に基づいて解決法を判断できる。 I-5-B-(1-2)-①</p> <p>② 問題解決の適切性を評価できる。 I-5-B-(1-2)-②</p>	<p>B. 医療倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 個人情報保護について説明できる。 I-6-B-(1-2)-①</p> <p>② 倫理の概念について説明することができる。 I-6-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 研究倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 研究倫理の概念について述べることができる。 I-6-C-(1-2)-①</p> <p>② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。 I-6-C-(1-2)-②</p>	
3,4年 ロードマップ	<p>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-①</p> <p>② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-②</p> <p>③ 根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p>	<p>① 医学生の医行為水準を説明できる。 I-6-A-(3-4)-①</p> <p>② 医師法・医療法の概要を説明できる。 I-6-A-(3-4)-②</p>	<p>① 医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>② 倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。 I-6-C-(3-4)-②</p>	<p>① 社会保障を概説できる。 I-6-D-(3-4)-①</p> <p>② 医療に関する保証制度を概説できる。 I-6-D-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。 I-5-A-(5-6)-①</p> <p>② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。 I-5-A-(5-6)-②</p> <p>③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。 I-5-A-(5-6)-③</p>	<p>① 病院の規則に従って診療に関われる。 I-6-A-(5-6)-①</p>	<p>① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。 I-6-B-(5-6)-①</p> <p>② 臨床倫理を実践できる。 I-6-B-(5-6)-②</p> <p>③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。 I-6-B-(5-6)-③</p>	<p>① 臨床研究の倫理指針を概説できる。 I-6-C-(5-6)-①</p>	<p>① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。 I-6-D-(5-6)-①</p>

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム/ロードマップ

		2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
1. 患者を理解し支持する姿勢		B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。				
アウトカム	A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。	
1、2年 ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①	① 社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-① ② 学習の上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-① ③ 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-② ④ 省察(振り返り)を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③ ⑤ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-① ② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②
3、4年 ロードマップ	① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①	① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①
5、6年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を探索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①

アウトカム	3. 社会に奉仕する姿勢			4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。	
1,2年 ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 II-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。 II-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。 II-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。 II-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べたことを要約できる。 II-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えらる。 II-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-②	
3,4年 ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができ。 II-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 II-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②	① 学習する事例について医学の貢献を説明できる。 II-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 II-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II-5-B-(3-4)-②	
5,6年 ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 II-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 II-3-B-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 II-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成員の役割を説明できる。 II-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 II-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 II-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 II-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 II-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 II-5-B-(5-6)-③		

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を3年後期までに学ぶ。4年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わりを学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして4年後期は、5年の臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、5年の初めから医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。5年から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

6年間のカリキュラム全体図

1年	前期 (4月～7月)	セグメント1	人体の基礎	人体の基本的構造と機能/ 人体の防御機構	テ ュ ー ト リ ア ル ・ T B L	「至誠と愛」の実践学修	医療・患者安全学	基本的・医学的表現技術	国際コミュニケーション	A I ・ デ ー タ サイ エ ンス と 医 療	選 択 科 目
	後期 (9月～3月)	セグメント2	人体の機能と 微細構造								
2年	前期	セグメント3	人体の構造と 疾患の基礎	人体の発生と全体構造/ 疾患の成り立ちと治療の基礎							
	後期	セグメント4	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常1	臨床診断総論/循環器系 呼吸器系/腎尿路系/生殖器系/妊娠と分娩							
3年	前期	セグメント5	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常2/ 人の一生	消化器系/内分泌・高血圧系/栄養・代謝系 新生児・小児・思春期/加齢と老化、臨終							
	後期	セグメント6	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常3/ 医学研究	脳神経系/精神系/運動器系/ 皮膚粘膜系/聴覚・耳鼻咽喉系/眼・視覚系							
4年	前期	セグメント7	全身的な変化と医学/ 医療と社会	全身的な変化/医学と社会							
	後期	セグメント8	臨床入門	臨床入門							
5年	前期	セグメント9	医療と医学の 実践	診療参加型臨床実習（研究実習）							
	後期										
6年	前期	セグメント10	全体統合・ 総合達成度評価	卒業試験							
	後期										

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、チュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント3

「人体の発生と全体構造／疾患の成り立ちと治療の基礎」

令和6年4月8日 ～ 令和6年7月19日

I セグメント3の学修内容

第1学年から継続中の「人体の基本的構造と機能／人体の防御機構」を学ぶ基礎医学の最終段階として、セグメント3では「人体の構造と疾患の基礎」を中心テーマとして学修する。セグメント1では「人体の基礎」をテーマに、細胞から人体にいたるまでをその内部からの視点とそれを取り巻く外部環境からの視点で、細胞レベルでの生命現象の基本的知識と捉え方を学んだ。生命現象を自分を中心とした身近な問題として様々な角度から考えることによって、学識のみならず自分自身も生きていることを実感し、医師を目指す心構えを涵養した。セグメント2では「人体の機能と微細構造」をテーマに、まず生体を構成する物質や細胞の特性を分子レベルから学ぶとともに、組織や個体の特性を理解するために生命現象を機能と微細構造の両面から学修した。さらには、生体と微生物との関係、および生体防衛と免疫についても学んだ。同時に、社会の中で人として、また医師として活躍するために、これらの基礎医学的知識・技能のみならず、思考力やコミュニケーション能力を磨き始めた。

セグメント3においては、新たに5つの基幹科目を中心としたより系統的な学修を通して、人体全体構造についてその発生と肉眼的な成り立ちの理解と画像イメージとの比較をおこなう。さらに、人体を取り巻く疾患の病因や病態、ならびにその治療の基礎についての理解をおこなう。具体的にはまず、「人体発生・比較発生」では、個体発生のしくみとその異常について、「人体全体構造」では、器官（系）レベルでの人体構造の系統的理解をめざす。また、「生体画像の基本」では、画像を通しての人体の正常構造を学び、上級セグメントで学ぶ臨床画像診断への基礎を確立する。さらに、人体が罹る様々な病気の病因や病態、およびそれらの治療の理解のために「病因と病態」では疾患の成り立ちを、「治療の基礎」では薬物と放射線の作用機序を中心に学修する。これらの学修は、次のセグメント4以降から始まる器官系レベルでの構造と機能の正常と異常について理解のための基礎となる。

学修方法として、第2学年の一学期に当たるこのセグメントでは、上記5つの基幹科目をじっくりと時間をかけて授業をおこなう。ここでは特に、人体構造の精巧かつ合理的なしくみをご遺体から直接学び取るための体験実習に多くの時間をかけておこなう。したがって、実習時間を有効に活用することが極めて重要である。同時に、献体についての理解と感謝の気持ちを持ち、生命に対する畏敬の念と医師としての使命感・責任感を涵養する。また、基幹科目と連動してテュートリアル学修では、「人体の正常構造」「形態形成」「疾患の成り立ち」を中心テーマとした3課題について、セグメント1-2で身につけた「探究心」や「テュートリアル学修技法」をさらに強力に実践することにより、より高度な学識を獲得することが求められる（学修項目発見型テュートリアル）。そして、新たに自己評価とグループ活動の評価を行いながら、論理的に学修内容を掘り下げ、統合的理解度をさらに増すことを目指すことにより、上級セグメントにおける診療問題解決型テュートリアルへの発展の足がかりとなる。

学年縦断型科目として、「「至誠と愛」の実践学修」「国際コミュニケーション」「医学の学び方・

考え方」を設定し、それぞれの学年ごとの目的に応じて学修内容が構成されている。

さらに毎週水曜日第5、6限目には、第1～4学年にわたる、一般教養を学べる授業として、「選択科目（全28科目）」が開講されている。なお、第2～4学年を対象として、早稲田大学「オープン科目」が別に課外時間を利用して選択受講することができる。

Ⅱ 到達目標

A. 包括的到達目標（セグメント3）

1. ヒトの発生過程の経時的変化、器官の正常発生について理解し、さらには臨床的にも重要な先天異常について論ずることができる。
 - 1) 個体発生と系統発生
 - 2) 器官形成と遺伝子発現
 - 3) 先天奇形の成因と予防

2. 人体の正常な構造の名称、形態、位置関係、特性について説明できるとともに、実習標本でそれらの構造と特徴を指し示すことができる。
 - 1) 運動器系
 - 2) 循環器系
 - 3) 消化器系
 - 4) 呼吸器系
 - 5) 泌尿器系、生殖器系
 - 6) 神経系（感覚器を含む）
 - 7) 内分泌系

3. 人体構造を生体画像としてとらえ、将来に病気の画像診断を行うために、その方法の原理と各臓器の正常像を肉眼解剖実習標本と対比して理解できる。
 - 1) 画像診断検査法の原理
 - 2) 解剖画像と機能画像
 - 3) 臓器別の画像解剖（骨・関節、心・血管、呼吸器、消化器、肝・胆・膵、泌尿・生殖器、脳、頭頸部など）

4. 治療の基礎としての薬物と放射線の作用機序を論ずることができる。
 - 1) 薬物・放射線と生体の相互作用
 - 2) 薬物・放射線の作用機序
 - 3) 薬物・放射線の利用

5. 疾患の成り立ちを論ずることができる
 - 1) 遺伝子異常と疾患・発生発達異常
 - 2) 細胞傷害・変性と細胞死
 - 3) 代謝障害
 - 4) 循環障害
 - 5) 炎症と創傷治癒
 - 6) 腫瘍

B. 科目別シラバス

科目名	人体発生・比較発生
科目責任者(所属)	石津 綾子

到達目標	<p>発生生物学(Developmental Biology)は胎生期から成体へのヒトの発生・発達過程における生物学的プロセスを検証する学問分野である。本科目は受精卵、胚子、胎児、出生そして出生後の発達・成長におけるヒトの発生・発達過程を学習する。胎生期間から成体にいたるまで、驚異的な数の分子レベルでの発生・発育現象が秩序だてて生じる。発生・発育現象を学習することによは、人体の基本構造の成り立ちを理解し、また臨床医学における様々な先天異常を学習する上で欠くことのできないものである。そこで、以下の点を科目の主な到達目標として学修を行う。</p> <p>評価項目(到達目標):</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生殖細胞の成熟過程から受精後の胚子形成、ならびに胎児発育までの過程を理解し、先天異常の原因について説明することができる。 2) 体細胞の成熟過程から器官形成期における三胚葉(外胚葉、中胚葉、内胚葉)の分化過程・成熟過程を理解するとともに、主な先天異常の発生機構を説明できる。 3) 生物の進化過程における系統樹を理解し、植物性器官と動物性器官の成り立ちと体内での相関性を説明できる。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-① 2) 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③ 3) 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-② 4) 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-② 5) 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②
学修(教育)方法	講義・実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	<ol style="list-style-type: none"> 1) 実習への出席及び取り組み姿勢(全ての実習への参加と提出物の期限厳守) 2) 実習レポートなどの提出物の内容 3) 期末の定期試験(筆記試験): 上記の評価項目(到達目標)についての学識
評価方法 (2)評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1) 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 C-2-4)① 2) 体節の形成と分化を説明できる。 C-2-4)② 3) 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 C-2-4)③ 4) 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 C-2-4)④ 5) 心血管系の形成過程を説明できる。 C-2-4)⑤ 6) 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 C-2-4)⑥ 7) 胚内体腔の形成過程を概説できる。 C-2-4)⑦ 8) 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 C-2-4)⑧ 9) 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 C-2-4)⑨ 10) 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 D-9-1)① 11) 男性生殖器・女性生殖器の発育の過程を説明できる。 D-9-1)②⑥ 12) 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 D-9-1)⑧ 13) 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。 D-10-3)② 14) 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 E-7-1)① 15) 主な先天性疾患を列挙できる。 E-7-1)② 16) 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。 C-4-1)⑥ 17) 進化の基本的な考え方を説明できる。 C-1-1)-(3)① 18) 生物種とその系統関係を概説できる。 C-1-1)-(3)②
評価方法 (3)評価基準	<p>上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。最終的に実習点を10%、期末試験を90%で成績とする。実習点に関しては、実習への参加は必須であり、提出されたレポートの評価を基準に判定する。</p>

伝達事項 * 実習は大実習室1と大実習室3と二班に分かれて実施するので、予め各自で自分のグループ、実習場所を確認しておくこと。
* 実習には一部で、胎児のご遺体からの標本や実験動物を使用する内容を含むので、服装や身なりを整えとともに、各御霊に対して失礼のないように感謝の気持ちを持って実習に臨むこと。

教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
		1.	『推薦図書』		
	2.	『ラーセン人体発生学 : カラー版』	Larsen, WJ	西村書店 2013	9784890134311
	3.	『ムーア人体発生学』	Moore, KL	医歯薬出版 2011	9784263731345
	4.	『ラングマン人体発生学』	Sadler, TW	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2016	9784895928397
	5.	『参考図書』			
	6.	『カラー図解人体発生学講義ノート』	塩田浩平	金芳堂 2015	9784895928397
	7.	『Langman's medical embryology』	Sadler, TW	Lippincott Williams & Wilkins 2015	9781469897806
	8.	『受精卵からヒトになるまで』	Moore, KL	医歯薬出版 2007	9784263209912
	9.	『人体発生学』	遠山正彌	南山堂 2003	4525110619
	10.	『カールソン人体発生学: 分子から個体へ』	Carlson, BM	西村書店 2002	4890132899
	11.	『ネッター発生学アトラス』	Cochard, LR	南江堂 2008	9784524238576
	12.	『発生学アトラス』	Drews, U	文光堂 1997	4830600233
	13.	『ギルバート発生物学 (Developmental biology)』	Gilbert, SF	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015	9784895928052
	14.	『発生物学(ベーシックマスター)』	東中川徹	オーム社 2008	9784274205996
	15.	『エッセンシャル発生物学』	Slack, J	羊土社 2007	9784758107099
	16.	『ウォルパート発生物学』	Wolpert, L	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2012	9784895927161
	17.	『ウィルト発生物学』	Wilt, FH	東京化学同人 2006	4807906240
	18.	『医科遺伝学』	松田一郎	南江堂 1999	4524212132

	19.	『脊椎動物の発生 上』	岡田節人	培風館 1989	4563038814
関連リンク					
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/09(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	生殖器官／減数分裂／精子形成			
	担当者(所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①,D-9-1)③④, C-1-1)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2024/04/12(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	卵子形成／卵胞成熟～排卵とその調整			
	担当者(所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①,D-9-1)⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2024/04/19(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	形態形成の分子機構(1)			
	担当者(所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2024/04/22(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	受精／着床			
	担当者(所属)	浦瀬 香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①,D-10-3)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2024/04/22(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	二層性胚盤／三層性胚盤／胚葉形成／体の基本形成立(1)			
	担当者(所属)	浦瀬 香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②④⑦⑨,D-10-3)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2024/04/24(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	体の基本形成立-(2)			
	担当者(所属)	浦瀬 香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②④⑦⑨,D-10-3)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6

7.	2024/04/24(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	胚膜、胎盤、臍帯			
	担当者(所属)	浦瀬 香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①,D-10-3)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/05/09(木)	2時限	講義	—	10:25-11:35
	タイトル	妊娠と母児相関、胎児循環 (303講義室) ※対面のみで収録・配信なし			
	担当者(所属)	渡辺 智之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨, D-5-1)⑤, D-10-3)②, E-7-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2024/05/10(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	形態形成の分子機構(2)			
	担当者(所属)	望月 牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2024/05/16(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	外胚葉の分化とその異常(1): 体表外胚葉・神経外胚葉			
	担当者(所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑨, D-3-1)①, D-2-1)-(1)①⑤, D-2-1)-(2)①③, D-2-1)-(3)①②, D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2024/05/16(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	外胚葉の分化とその異常(2): 神経外胚葉			
	担当者(所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑨, D-2-1)-(1)①⑤, D-2-1)-(2)①③, D-2-1)-(3)①②, D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2024/05/22(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	中胚葉の分化とその異常(1): 沿軸中胚葉			
	担当者(所属)	石井 泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2024/05/22(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	中胚葉の分化とその異常(2): 側板中胚葉			
	担当者(所属)	石井 泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2024/05/23(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	鰓弓器官の分化とその異常(1)			
	担当者(所属)	横溝 智雅			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)②④⑤⑧, D-7-1)⑬, D-2-1)-(3)②, D-5-1)⑥, D-12-1)④, D-14-1)①③④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2024/05/23(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	鰓弓器官の分化とその異常(2)			
	担当者(所属)	横溝 智雅			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)②④⑤⑧,D-7-1)⑬,D-2-1)-(3)②,D-5-1)⑥,D-12-1)④,D-14-1)①③④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2024/05/29(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	中胚葉の分化とその異常(3): 中間中胚葉(泌尿器系)			
	担当者(所属)	石井 泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2024/05/29(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	中胚葉の分化とその異常(4): 中間中胚葉(生殖系)			
	担当者(所属)	石井 泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2024/05/31(金)	3時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2024/05/31(金)	4時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2024/05/31(金)	5時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				20

21.	2024/06/04(火)	3時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2024/06/04(火)	4時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2024/06/04(火)	5時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2024/06/05(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	内胚葉の分化とその異常(1):消化管			
	担当者(所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①④⑥,D-6-1)①,D-7-1)①②③⑥⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2024/06/05(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	内胚葉の分化とその異常(2):呼吸器・消化管付属腺			
	担当者(所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①④⑥,D-6-1)①,D-7-1)①②③⑥⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2024/06/06(木)	3時限	実習	大実習室 1 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③			

		C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			26
27.	2024/06/06(木)	4時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			27
28.	2024/06/06(木)	5時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 15:15-16:25
	タイトル	ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			28
29.	2024/06/11(火)	3時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 12:30-13:40
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			29
30.	2024/06/11(火)	4時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			30
31.	2024/06/11(火)	5時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 15:15-16:25
	タイトル	ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①②⑦⑧⑨,A-2-2)③ C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	講義資料番号/連番(LMS)			

	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2024/06/13(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	発生学概論・ヒトの発生と遺伝			
	担当者(所属)	竹下 暁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-1-1)-(3)①②,E-7-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2024/07/17(水)	3時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	人体発生・比較発生(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2024/07/17(水)	4時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	人体発生・比較発生(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2024/08/21(水)	3時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	人体発生・比較発生(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2024/08/21(水)	4時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	人体発生・比較発生(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36

大項目	中項目	小項目
Ⅲ．胎生期の発育	1. 胎児期	1) 形態変化 2) 頂殿長・頂踵長 3) 妊娠持続期間
Ⅳ．器官形成	1. 外胚葉の分化	1) 神経管の分化 a) 脳胞 i) 一次脳胞 [前脳、中脳、後脳 (菱脳)] ii) 二次脳胞 (終脳、間脳、中脳、後脳、髄脳) iii) 脳 (大脳、小脳、中脳、橋、延髄) b) 脊髄 c) 間脳底部 漏斗/下垂体後葉 d) 間脳蓋部 松果体憩室/松果体 e) 眼胞 眼杯/網膜 2) 神経堤細胞の分化 a) 脳神経の神経節 b) 脊髄神経節と感覚神経 c) 頭頸部間葉組織 d) 咽頭弓 (鰓弓) 軟骨 e) パラガングリオン (副腎髄質) f) 色素細胞 3) 体表外胚葉の分化 a) 表皮、毛、爪、皮膚腺 b) 口窩外胚葉 ラトケ囊/下垂体前葉、隆起部、中間部 c) 水晶体板 (レンズプラコード) 水晶体胞/水晶体 d) 耳板 (耳プラコード) 耳胞/聴覚、平衡覚の感覚上皮 e) 乳腺堤 乳腺芽/乳腺 f) 歯堤 歯蕾/エナメル器/エナメル芽細胞
	2. 中胚葉の分化	1) 沿軸中胚葉の分化 a) 体節 i) 皮板 (真皮、皮下組織) ii) 筋板 (体幹・四肢の骨格筋) iii) 椎板 (頭蓋以外の軸骨格) 2) 中間中胚葉の分化 a) 前腎と前腎管 b) 中腎 c) 中腎管 (ウオルフ管) i) 尿管、腎盂、腎杯、集合管 ii) 精巣輸出管、精巣上体管、精管 d) 中腎傍管 (ミューラー管) i) 卵管、子宮 e) 後腎 (永久腎) i) 造後腎芽体、尿管芽 ii) 腎臓、尿管 iii) 腎の上昇

大項目	中項目	小項目
V . 発生の異常	3. 内胚葉の分化	<ul style="list-style-type: none"> iv) 骨盤腎、馬蹄腎、嚢胞腎 f) 生殖(巢)堤 <ul style="list-style-type: none"> i) 精巢と卵巣 ii) 精巢下降と停留精巢(睾丸) g) 副腎皮質 3) 側板中胚葉の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 心臓・脈管系、胎児循環 b) 消化管壁の筋、結合組織 c) 体壁、四肢の骨格と結合組織 d) 漿膜(腹膜、胸膜、心膜) e) 脾臓 f) 胚内体腔 1) 原始腸管の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 前腸 <ul style="list-style-type: none"> i) 口腔、咽頭、食道、胃、十二指腸の近位部 ii) 肝芽/肝臓、胆嚢 iii) 腹側及び背側膝芽/膝臓/輪状膝 iv) 呼吸器憩室、肺芽/気管支、肺胞、サーファクタント/気管食道瘻 b) 中腸 <ul style="list-style-type: none"> i) 腸ループ/生理的臍ヘルニア ii) 十二指腸後半~横行結腸右2/3 c) 後腸 <ul style="list-style-type: none"> i) 横行結腸左1/3 ~ 肛門管上部 2) 尿生殖洞の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 膀胱、尿道、膣の上皮
	4. 咽頭器官の発生	<ul style="list-style-type: none"> 1) 咽頭弓(鰓弓)の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 咽頭弓動脈 <ul style="list-style-type: none"> i) 大動脈弓、総頸動脈など ii) 鎖骨下動脈の起始異常 b) 咽頭弓軟骨 <ul style="list-style-type: none"> i) メッケル軟骨、ライヘルト軟骨ほか c) 咽頭弓筋 <ul style="list-style-type: none"> i) 頭頸部の骨格筋 d) 咽頭弓神経 <ul style="list-style-type: none"> 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経(上喉頭神経、反回神経) e) 舌の形成 f) 甲状腺、甲状舌管 g) 顔面と口蓋の形成 <ul style="list-style-type: none"> i) 口蓋裂、唇裂 2) 咽頭溝の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 外耳道、鼓膜 3) 咽頭嚢の分化 <ul style="list-style-type: none"> a) 鼓膜、鼓室、耳管 b) 口蓋扁桃 c) 上皮小体、胸腺 d) 鰓後体 1) 先天異常の定義 2) 先天異常の型 3) 先天異常の原因と危険期
	1. 先天異常	

大項目	中項目	小項目
VI . 比較発生	1. 生物の系統樹 2. 進化と器官形成	a) 先天異常の原則 b) 発生の時期との関連 c) 環境因子 i) 放射線 ii) 薬剤、化学物質 iii) 感染 iv) 環境ホルモン v) 母体環境 d) 遺伝的因子 i) 染色体異常と流産 ii) 突然変異遺伝子による先天異常 1) 植物性器官 a) 消化器系、呼吸器系 b) 循環器系、リンパ（免疫系）、内分泌系 c) 泌尿器系、生殖器系 2) 動物性器官 a) 外皮系、感覚器系 b) 神経系 c) 骨格系、筋系

科目名	人体全体構造
科目責任者(所属)	藤枝 弘樹

到達目標	解剖学は人体の正常な構造を学ぶ学問であり、肉眼レベルの構造を扱う肉眼解剖学と組織や細胞を扱う顕微解剖学に大別される。本科目では人体の肉眼レベルの構造を系統的に学修し、人体全体の構造を総合的に理解することを目標とする。まず総論として、人体を構成する各器官系の構造について学び、人体構造の基礎知識を身につける。次に、より応用的な局所解剖学を学び、局所における各構造物の立体的位置関係、恒定基準、変異等を理解する。解剖学実習においては、臨床的に重要な構造物を自ら剖出し、スケッチにより観察所見を正確に記録する。また、献体によって提供されたご遺体を扱うことで、医師に求められる真摯かつ敬度な態度を培う。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p> <p>研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-②</p>	
学修(教育)方法	講義・実習・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	筆記試験(中間・定期試験)の成績と実習点を総合して評価する。実習点は実習スケッチおよび実習態度を評価する。実習は全出席を原則とし、正当な理由なく、あるいは無断で(事前の連絡なく)欠席した場合は実習点を失う。また2回以上の無断欠席により筆記試験の受験資格を失う。各評価対象の比重は中間試験(20%)、定期試験(70%)、実習評価(10%)とする。	
評価方法 (2)評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1)位置関係を方向用語(上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側)で説明できる。 C-2-2)-(2)① 2)中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 D-2-1)-(1)① 3)脊髄神経と神経叢(頭神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢)の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布(デルマトーム)を概説できる。 D-2-1)-(2)③ 4)脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 D-2-1)-(3)② 5)骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1)① 6)頭頸部の構成を説明できる。 D-4-1)② 7)脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1)③ 8)四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1)④ 9)骨盤の構成と性差を説明できる。 D-4-1)⑤ 10)姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-1)⑦ 11)心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 D-5-1)① 12)体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 D-5-1)⑤ 13)大動脈と主な分枝(頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢)を図示し、分布域を概説できる。 D-5-1)⑥ 14)主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 D-5-1)⑦ 15)胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 D-5-1)⑨ 16)気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 D-6-1)① 17)肺循環と体循環の違いを説明できる。 D-6-1)② 18)縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。 D-6-1)③ 19)各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 D-7-1)① 20)腹膜と臓器の関係を説明できる。 D-7-1)② 21)食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 D-7-1)③ 22)肝の構造と機能を説明できる。 D-7-1)⑥ 23)腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 D-8-1)② 24)男性生殖器の形態と機能を説明できる。 D-9-1)③ 	

25) 女性生殖器の形態と機能を説明できる。	D-9-1)⑦
26) 乳房の構造と機能を説明できる。	D-11-1)①
27) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	D-12-1)②
28) 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。	D-13-1)①
29) 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	D-14-1)①
30) 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。	D-14-1)③

評価方法 (3)評価基準	中間試験、定期試験、実習評価を総合し、100点満点にて点数化する。S.極めて良く理解している(90%以上)A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
-----------------	---

伝達事項	講義資料は実習書として事前に配布する。実習時におこなう口頭試問は形成的評価の対象とする。
------	--

教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
	1.	『分担解剖学 全3巻』	森於菟	金原出版 1982	437003411 43700342X 437003438
	2.	『日本人体解剖学 上下』	金子丑之助	南山堂 2020	4525100893 4525100990
	3.	『解剖学講義』	伊藤隆	南山堂 2012	9784525100537
	4.	『解剖実習の手びき』	寺田、藤田	南山堂 2004	4525103116
	5.	『骨学実習の手引き』	寺田、藤田	南山堂 1992	
	6.	『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系』	Schunke, M	医学書院 2017	9784260025348
	7.	『プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖』	Schunke, M	医学書院 2019	9784260014410
	8.	『プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部』	Schunke, M	医学書院 2020	9784260014113
	9.	『プロメテウス解剖学アトラス 口腔/頭頸部』	Schunke, M	医学書院 2018	9784260013383
	10.	『プロメテウス解剖学コアアトラス』	Gilroy 他(坂井 他訳)	医学書院 2019	
	11.	『グラント解剖学図譜』	Agur & Dally(坂井 他訳)	医学書院 2016	
	12.	『ネッター解剖学アトラス』	Netter(相磯 訳)	南江堂 2016	
	13.	『Sobotta図説人体解剖学』	Putz & Pabst(岡本 訳)	医学書院 2002	
	14.	『解剖学カラーアトラス』	Rohen & 横地	医学書院 2016	
	15.	『標準解剖学』	坂井建雄	医学書院 2017	
	16.	『臨床のための解剖学』	佐藤・坂井監訳	メディカルサイエンスインターナ	

			シヨナル	
			2016	
関連リンク				
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK				

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/08(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	運動器系1(総論)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				
2.	2024/04/08(月)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	運動器系2(体幹骨)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				
3.	2024/04/09(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	運動器系3(上肢骨)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)①④			
	講義資料番号/連番(LMS)				
4.	2024/04/09(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	運動器系4(下肢骨)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)①④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				
5.	2024/04/10(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	神経系1(脳神経)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				
6.	2024/04/10(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	神経系2(脳神経)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				
7.	2024/04/11(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35

	タイトル	運動器系5(頭蓋骨)		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)②,D-2-1)-(3)②		
	講義資料番号/連番(LMS)			7
8.	2024/04/11(木)	3時限	講義	講義室 303
	タイトル	運動器系6(頭蓋骨)		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)②,D-2-1)-(3)②		
	講義資料番号/連番(LMS)			8
9.	2024/04/12(金)	2時限	講義	講義室 303
	タイトル	運動器系7(筋)		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)④⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			9
10.	2024/04/12(金)	3時限	実習	解剖実習室
	タイトル	骨学1		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)			10
11.	2024/04/12(金)	4時限	実習	解剖実習室
	タイトル	骨学1		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)			11
12.	2024/04/12(金)	5時限	実習	解剖実習室
	タイトル	骨学1		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)			12
13.	2024/04/15(月)	2時限	講義	講義室 303
	タイトル	運動器系8(筋)		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)④⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			13
14.	2024/04/15(月)	3時限	実習	解剖実習室
	タイトル	骨学2		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)			14

15.	2024/04/15(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	骨学2			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2024/04/15(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	骨学2			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2024/04/16(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	神経系3(脊髄神経)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2024/04/16(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	骨学3			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2024/04/16(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	骨学3			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2024/04/16(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	骨学3			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2024/04/17(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	神経系4(脊髄神経)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2024/04/17(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	循環器系1(心臓)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①,D-6-1)②			

	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2024/04/17(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	循環器系2(心臓)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2024/04/18(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	循環器系3(動脈)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2024/04/19(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	循環器系4(静脈・リンパ)			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑦⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2024/04/19(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	骨学4			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2024/04/19(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	骨学4			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2024/04/19(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	骨学4			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-4-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2024/04/22(月)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	オリエンテーション しらぎくの集い			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2024/04/23(火)	2時限	試験	—	10:25-11:35
	タイトル	中間試験(303講義室)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出				

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2024/04/27(土)	2時限	行事	弥生記念講堂	10:25-11:35
	タイトル	献体登録者との懇談会「しらぎくの集い」			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2024/04/27(土)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	献体登録者との懇談会「しらぎくの集い」			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2024/05/07(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	頸部、胸腹部の皮下			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2024/05/07(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	頸部、胸腹部の皮下1			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2024/05/07(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	頸部、胸腹部の皮下1			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2024/05/07(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	頸部、胸腹部の皮下1			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2024/05/07(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	頸部、胸腹部の皮下1			

	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			37
38.	2024/05/08(水)	2時限	実習	解剖実習室 10:25-11:35
	タイトル	頭部、胸腹部の皮下2		
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			38
39.	2024/05/08(水)	3時限	実習	解剖実習室 12:30-13:40
	タイトル	頭部、胸腹部の皮下2		
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			39
40.	2024/05/08(水)	4時限	実習	解剖実習室 13:55-15:05
	タイトル	頭部、胸腹部の皮下2		
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			40
41.	2024/05/10(金)	2時限	講義	講義室 303 10:25-11:35
	タイトル	頭部の中層、胸壁と腋窩		
	担当者(所属)	藤枝 弘樹		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①		
	講義資料番号/連番(LMS)			41
42.	2024/05/10(金)	3時限	実習	解剖実習室 12:30-13:40
	タイトル	頭部の中層、胸壁と腋窩		
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LMS)			42
43.	2024/05/10(金)	4時限	実習	解剖実習室 13:55-15:05
	タイトル	頭部の中層、胸壁と腋窩		
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	43			
44.	2024/05/10(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	頸部の中層、胸壁と腋窩			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2024/05/10(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	頸部の中層、胸壁と腋窩			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2024/05/13(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	鎖骨下動静脈、開胸			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2024/05/13(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	鎖骨下動静脈、開胸			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2024/05/13(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	鎖骨下動静脈、開胸			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2024/05/13(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	鎖骨下動静脈、開胸			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				49

50.	2024/05/13(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	鎖骨下動静脈、開胸			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2024/05/14(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	背部の皮下、浅背筋			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2024/05/14(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	背部の皮下、浅背筋			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2024/05/14(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	背部の皮下、浅背筋			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2024/05/14(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	背部の皮下、浅背筋			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2024/05/14(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	背部の皮下、浅背筋			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2024/05/17(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	上腕伸側と肩甲骨背面、殿部と大腿後面			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	56			
57.	2024/05/17(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	上腕伸側と肩甲骨背面、殿部と大腿後面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2024/05/17(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	上腕伸側と肩甲骨背面、殿部と大腿後面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2024/05/17(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	上腕伸側と肩甲骨背面、殿部と大腿後面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2024/05/17(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	上腕伸側と肩甲骨背面、殿部と大腿後面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2024/05/20(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	前腕伸側と手背、下腿後面と足底			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2024/05/20(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	前腕伸側と手背、下腿後面と足底			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				62

63.	2024/05/20(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	前腕伸側と手背、下腿後面と足底			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2024/05/20(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	前腕伸側と手背、下腿後面と足底			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2024/05/20(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	前腕伸側と手背、下腿後面と足底			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2024/05/21(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	上腕屈側、大腿前面			
	担当者(所属)	蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2024/05/21(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	上腕屈側、大腿前面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2024/05/21(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	上腕屈側、大腿前面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2024/05/21(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	上腕屈側、大腿前面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨			

		藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			69	
70.	2024/05/21(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	上腕屈側、大腿前面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			70	
71.	2024/05/24(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	前腕屈側、下腿前面と足背			
	担当者(所属)	蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			71	
72.	2024/05/24(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	前腕屈側、下腿前面と足背			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			72	
73.	2024/05/24(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	前腕屈側、下腿前面と足背			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			73	
74.	2024/05/24(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	前腕屈側、下腿前面と足背			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			74	
75.	2024/05/24(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	前腕屈側、下腿前面と足背			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦			

	講義資料番号/連番(LMS)				75
76.	2024/05/27(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	手掌、頭蓋内面			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				76
77.	2024/05/27(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	手掌、頭蓋内面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				77
78.	2024/05/27(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	手掌、頭蓋内面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				78
79.	2024/05/27(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	手掌、頭蓋内面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				79
80.	2024/05/27(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	手掌、頭蓋内面			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				80
81.	2024/05/28(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	腕神経叢と腋窩動脈、腹壁			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				81
82.	2024/05/28(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	腕神経叢と腋窩動脈、腹壁			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹			

		齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)			82	
83.	2024/05/28(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	腕神経叢と腋窩動脈、腹壁			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)			83	
84.	2024/05/28(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	腕神経叢と腋窩動脈、腹壁			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)			84	
85.	2024/05/28(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	腕神経叢と腋窩動脈、腹壁			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)			85	
86.	2024/05/30(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	縦隔と心膜、腹膜			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			87	
87.	2024/05/30(木)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	縦隔と心膜、腹膜			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)			88	
88.	2024/05/30(木)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	縦隔と心膜、腹膜			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			

	講義資料番号/連番(LMS)				89
89.	2024/05/30(木)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	縦隔と心膜、腹膜			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				90
90.	2024/05/30(木)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	縦隔と心膜、腹膜			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				86
91.	2024/06/03(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	心臓の外景、上・下腸間膜動静脈			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④,D-5-1)①⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				91
92.	2024/06/03(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	心臓の外景、上・下腸間膜動静脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				92
93.	2024/06/03(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	心臓の外景、上・下腸間膜動静脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				93
94.	2024/06/03(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	心臓の外景、上・下腸間膜動静脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				94
95.	2024/06/03(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	心臓の外景、上・下腸間膜動静脈			

	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				95
96.	2024/06/07(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	気管支と肺、腹腔動脈			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)⑥⑦,D-6-1)-①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				96
97.	2024/06/07(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	気管支と肺、腹腔動脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				97
98.	2024/06/07(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	気管支と肺、腹腔動脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				98
99.	2024/06/07(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	気管支と肺、腹腔動脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				99
100.	2024/06/07(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	気管支と肺、腹腔動脈			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				100
101.	2024/06/10(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	心臓の内部構造、胸腔の深部			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-5-1)①⑥⑦,D-6-1)-①③			

	講義資料番号/連番(LMS)				101
102.	2024/06/10(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	心臓の内部構造、胸腔の深部			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				102
103.	2024/06/10(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	心臓の内部構造、胸腔の深部			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				103
104.	2024/06/10(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	心臓の内部構造、胸腔の深部			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				104
105.	2024/06/10(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	心臓の内部構造、胸腔の深部			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				105
106.	2024/06/14(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	顔の浅層、胃、小腸、大腸、膀胱、脾臓			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑥⑦,D-7-1)①②③⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				106
107.	2024/06/14(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	顔の浅層、胃、小腸、大腸、膀胱、脾臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				107
108.	2024/06/14(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	顔の浅層、胃、小腸、大腸、膀胱、脾臓			

	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				108
109.	2024/06/14(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	顔の浅層、胃、小腸、大腸、膵臓、脾臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				109
110.	2024/06/14(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	顔の浅層、胃、小腸、大腸、膵臓、脾臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				110
111.	2024/06/17(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				111
112.	2024/06/17(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				112
113.	2024/06/17(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③ ,D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦,D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				113
114.	2024/06/17(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦, D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	114			
115.	2024/06/17(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦, D-11-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	115			
116.	2024/06/18(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	側頭下窩と舌周辺、横隔膜、腰神経叢			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	116			
117.	2024/06/18(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	側頭下窩と舌周辺、横隔膜、腰神経叢			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	117			
118.	2024/06/18(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	側頭下窩と舌周辺、横隔膜、腰神経叢			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	118			
119.	2024/06/18(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	側頭下窩と舌周辺、横隔膜、腰神経叢			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	119			
120.	2024/06/18(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	側頭下窩と舌周辺、横隔膜、腰神経叢			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③, D-4-1)④, D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	120			

121.	2024/06/21(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	固有背筋と脊髄			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				121
122.	2024/06/21(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	固有背筋と脊髄			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				122
123.	2024/06/21(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	固有背筋と脊髄			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				123
124.	2024/06/21(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	固有背筋と脊髄			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				124
125.	2024/06/21(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	固有背筋と脊髄			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				125
126.	2024/06/24(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	頭部離断、咽頭、甲状腺、喉頭			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-2-1)-(3)②D-9-1)③⑦,D-5-1)⑥⑦,D-7-1)③,D-8-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				126
127.	2024/06/24(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	頭部離断			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				127
128.	2024/06/24(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	頭部離断			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				128
129.	2024/06/24(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	頭部離断			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				129
130.	2024/06/24(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	頭部離断			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				130
131.	2024/06/25(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	生殖器、会陰			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)①③,D-2-1)-(3)②,D-4-1)②⑦,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				131
132.	2024/06/25(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	咽頭、甲状腺、喉頭、生殖器、会陰			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				132
133.	2024/06/25(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	咽頭、甲状腺、喉頭、生殖器、会陰			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔦池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				133

134.	2024/06/25(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	咽頭、甲状腺、喉頭、生殖器、会陰			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				134
135.	2024/06/25(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	咽頭、甲状腺、喉頭、生殖器、会陰			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				135
136.	2024/06/27(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)②,D-5-1)⑥⑦,D-7-1)⑬,D-14-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				136
137.	2024/06/28(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				137
138.	2024/06/28(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				138
139.	2024/06/28(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				139
140.	2024/06/28(金)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨			

		藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			140	
141.	2024/07/01(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	眼窩、骨盤内臓			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)②,D-5-1)⑥⑦,D-14-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				141
142.	2024/07/01(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	眼窩、骨盤内臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				142
143.	2024/07/01(月)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	眼窩、骨盤内臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				143
144.	2024/07/01(月)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	眼窩、骨盤内臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				144
145.	2024/07/01(月)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	眼窩、骨盤内臓			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				145
146.	2024/07/02(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	耳、関節			
	担当者(所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)②,D-4-1)①②,D-14-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				146

147.	2024/07/02(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	耳、関節			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				147
148.	2024/07/02(火)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	耳、関節			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				148
149.	2024/07/02(火)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	耳、関節			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				149
150.	2024/07/02(火)	6時限	実習	解剖実習室	16:35-17:45
	タイトル	耳、関節			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)③,D-4-1)④,D-5-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				150
151.	2024/07/05(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	納棺			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				151
152.	2024/07/05(金)	4時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	納棺			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かつり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				152
153.	2024/07/05(金)	5時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25

	タイトル	納棺			
	担当者(所属)	本多 祥子 早川 亨 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔭池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			153	
154.	2024/07/18(木)	3時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	人体全体構造(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			154	
155.	2024/07/18(木)	4時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	人体全体構造(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			155	
156.	2024/08/21(水)	3時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	人体全体構造(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			156	
157.	2024/08/21(水)	4時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	人体全体構造(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			157	

〔人体全体構造〕

大項目	中項目	小項目
I . 基本構造	1. 人体の部位、方向	
	2. 体壁 3. 体腔 4. 体腔内諸器官	
II . 各器官の構造	1. 運動器系	1) 骨、筋、関節、靭帯 2) 体幹骨、体幹筋 3) 上肢骨、上肢筋 4) 下肢骨、下肢筋 5) 頭蓋骨、表情筋、咀嚼筋
	2. 循環器系	1) 脈管系の基本構造 2) 心臓 3) 動脈系 4) 静脈系 5) リンパ系
	3. 消化器系	1) 口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸 2) 肝臓、胆嚢、膵臓 3) 腹膜と腹腔
	4. 呼吸器系	1) 鼻腔、喉頭 2) 気管・気管支 3) 肺 4) 胸膜と胸腔 5) 縦隔
	5. 泌尿器系	1) 腎臓 2) 尿管、膀胱、尿道
	6. 生殖器系	1) 女性生殖器 2) 男性生殖器
	7. 内分泌系	下垂体、甲状腺、上皮小体、胸腺、副腎
	8. 神経系	1) 神経系の基本構造 2) 脳と脊髄、髄膜 3) 脳神経と脊髄神経 4) 自律神経系
	9. 感覚器系	1) 皮膚 2) 視覚器 3) 平衡聴覚器 4) 嗅覚器・味覚器

科目名	生体画像の基本
科目責任者(所属)	坂井 修二

到達目標	<p>医学では病気の画像診断方法として、さまざまな種類の検査を利用している。その中には、X線を用いた、単純撮影、一般造影、消化管造影、血管造影、コンピュータ断層撮影(CT)、ヒトが聞こえる周波数よりもはるかに高い周波数の超音波を用いた超音波検査(ultrasonography,US)、大変強い磁力を用いた磁気共鳴画像(magnetic resonance imaging, MRI)、等が利用されている。一方、放射線同位元素を用いた核医学では、シンチグラフィカメラ、シングルフォトエミッションCT(SPECT)、ポジトロンエミッショントモグラフィ(PET)が利用されている。本科目の学修によって、医用画像がどのような原理でどのような機器で撮像されているか理解し、さらには画像診断の基本である画像解剖の理解を深める。</p>																							
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①</p> <p>事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②</p> <p>簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。 I-4-C-(1-2)-①</p> <p>自己学修の結果を適切に伝えられる。 I-4-C-(1-2)-③</p>																							
学修(教育)方法	講義・実習																							
評価方法 (1)総括的評価の対象	<p>・定期試験の受験資格は、大学の規定に従い2/3以上の出席が必要である。 (収録・配信の場合は100%を11コマ以上の視聴が必要となる)</p> <p>・視聴率が足りない学生の成績評価は行えない。最終成績は期末試験で評価し、100点満点の60点以上で合格とする。なお、定期試験を受験できなかった場合は、評価の対象者とならない。</p>																							
評価方法 (2)評価項目	<p>1. 画像診断に関連する物理を理解している。 [F-2-5)①7)①]</p> <p>2. 単純X線撮影、造影検査、血管撮影、超音波、CT、MRI、核医学の画像の成り立ちを説明できる。 [E-6-1)⑤2)②F-2-5)①②④⑤,7)①②③]</p> <p>3. 解剖画像と機能画像の違いを理解している。 [E-6-1)⑤2)②F-2-5)①②④⑤,7)①②③]</p> <p>4. 各診断用画像で臓器がどのように描出されるか理解している。 [D-2-1)2)-4-1)2)-5)1)2)-6)1)2)-7-1)2)-8-1)2)-9-1)2)14-1),F-2-5)①②]</p> <p>5. 臓器の区域や各部分を画像で説明できる。</p> <p>6. 臓器による検査の使い分けを理解している。 [E-6-1)⑤2)②F-2-5)①②④⑤,7)①②③]</p>																							
評価方法 (3)評価基準	<p>評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>																							
伝達事項	事前に講義資料のリンクより必要な資料をダウンロードしてください。																							
教科書・参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段:出版社 下段:出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『標準放射線医学』</td> <td>西谷弘</td> <td>医学書院 2011</td> <td>9784260005975</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 1.頭部・頸部 第4版』</td> <td>Moller, TB</td> <td>メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015</td> <td>9784895927956</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 2.胸部・心臓・腹部・骨盤 第4版』</td> <td>Moller, TB</td> <td>メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015</td> <td>9784895927963</td> </tr> </tbody> </table>				No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN	1.	『標準放射線医学』	西谷弘	医学書院 2011	9784260005975	2.	『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 1.頭部・頸部 第4版』	Moller, TB	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015	9784895927956	3.	『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 2.胸部・心臓・腹部・骨盤 第4版』	Moller, TB	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015	9784895927963
No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN																				
1.	『標準放射線医学』	西谷弘	医学書院 2011	9784260005975																				
2.	『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 1.頭部・頸部 第4版』	Moller, TB	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015	9784895927956																				
3.	『CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 2.胸部・心臓・腹部・骨盤 第4版』	Moller, TB	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2015	9784895927963																				

4.	『CT/MRI画像解剖ポケットアトラス 3.脊椎・四肢・関節 第4版』	Moller, TB	メディカル・サイエンス・インター ナショナル	9784815701208
			2018	
5.	『若葉マークの画像解剖学:診療放射線技師』	松村明	メジカルビュー社	9784758319300
			2019	
6.	『画像診断コンパクトナビ:医学生・研修医必携』	百島祐貴	医学教育出版社	9784871634694
			2016	
7.	『画像解剖アトラス』	平松慶博	榮光堂	9784900410220
			2008	
8.	『画像でみる人体解剖アトラス』	Wwie, J	エルゼビアジャパン	9784860343026
			2013	
9.	『ネッター解剖学アトラス』	Netter, FH	南江堂	9784524230082
			2022	
10.	『グレイ解剖学アトラス』	Drake, RL	エルゼビアジャパン	9784860346607
			2019	
11.	『グラント解剖学図譜』	Agur, AMR	医学書院	9784260047302
			2022	
12.	『臨床のための解剖学』	Moore, KL	メディカル・サイエンス・インター ナショナル	9784895928380
			2016	
13.	『プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部』	Schunke, M	医学書院	9784260039277
			2020	
14.	『Sobotta図説人体解剖学(第1巻)頭部・頸部・上肢』	岡本道雄	医学書院	9784260100748
			2006	
15.	『Sobotta 図説 人体解剖学 第2巻 体幹・内臓・下肢』	岡本道雄	医学書院	9784260100755
			2002	
16.	『新医用放射線科学講座 診療画像機器学 (新医用放射線科学講座)』	荒川哲	医歯薬出版	9784263206478
			2016	
17.	『放射線医学物理学』	西臺武弘	文光堂	9784830642289
			2011	
18.	『画像診断・放射線治療ビジュアルナーシング』	坂井修二、唐澤久美子	学研メディカル秀潤社	9784780912210
			2019	
19.	『生物学と医学のための物理学』	Paul Davidovits	共立出版	9784320035942
			2015	
20.	『アドバンス物理AS』	J.オグボーン、M.ホワイト ハウス	シュプリンガー・フェアラーク東京 株式会社	9784431711032
			2004	
21.	『アドバンス物理A2』	J.オグボーン、M.ホワイト ハウス	シュプリンガー・フェアラーク東京 株式会社	9784431711678
			2006	
22.	『核医学テキスト』	絹谷 清剛	中外医学社	9784498065246
			2012	
23.	『MDCTの基本パワーテキスト-CTの基礎からデュアル ソース』	陣崎 雅弘	メディカル・サイエンス・インター ナショナル	9784895926522
			2010	

	24.	『MRの実践—基礎から読影まで』	金森 勇雄	医療科学社 2011	9784860034160
関連リンク					
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/11(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	オリエンテーション、生体画像の物理①			
	担当者(所属)	坂井 修二 辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2024/04/18(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	生体画像の物理②			
	担当者(所属)	辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2024/04/25(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	生体画像の物理③			
	担当者(所属)	辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①,F-2-7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	3			
4.	2024/05/09(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像の成り立ち① 単純撮影、一般造影、血管造影			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①②⑤,E-6-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)	4			
5.	2024/05/16(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像の成り立ち② CT、超音波			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①②,F-2-7)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)	5			
6.	2024/05/17(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像の成り立ち③ MRI			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①②,E-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)	6			

7.	2024/05/31(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖① 骨/関節(肩、上肢、骨盤、下肢)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1),D-4-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/06/06(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖② 消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)			
	担当者(所属)	森田 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)2),D-11-1)2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2024/06/12(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖③ 心、大血管			
	担当者(所属)	長尾 充展			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1),D-5-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2024/06/13(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像の成り立ち④ シンチカメラ、SPECT、PET			
	担当者(所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5) ①②④,E-6-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2024/06/17(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖④ 肺、縦隔、乳腺			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1),D-7-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2024/06/19(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖⑤ 脊椎、脊髄			
	担当者(所属)	阿部 香代子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)①③,D-2-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2024/06/19(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	画像解剖⑥ 大脳、小脳、脳幹、脳血管、脳漕			
	担当者(所属)	鈴木 一史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1),D-2-1)-(2),D-2-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2024/06/20(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	画像解剖⑦ 肝、胆、膵、脾			
	担当者(所属)	森田 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1),D-7-2)			

	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2024/06/27(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	画像解剖⑧ 泌尿、生殖器、腹腔、後腹膜			
	担当者(所属)	森田 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)2),D-9-1)2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2024/07/03(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	画像解剖⑨ 頭頸部(副鼻腔、唾液腺、甲状腺、咽頭、喉頭)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1),F-2-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2024/07/19(金)	3時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	生体画像の基本(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2024/07/19(金)	4時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	生体画像の基本(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2024/08/23(金)	3時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	生体画像の基本(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2024/08/23(金)	4時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	生体画像の基本(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				20

[生体画像の基本]

大項目	中項目	小項目
I. 生体画像の物理	1. X線	<ol style="list-style-type: none"> 1) 発生の原理 2) 陰影形成のメカニズム 3) 加速電圧による特性の違い 4) 散乱線発生のメカニズム
	2. α 線、 β 線、 γ 線、陽電子	<ol style="list-style-type: none"> 1) 種類と特徴 2) 飛程 3) 医療への応用
	3. 超音波	<ol style="list-style-type: none"> 1) 発生の原理 2) 使用する周波数帯域 3) 波動としての特性 4) 音響特性インピーダンス 5) 反射係数 6) スネルの法則 7) ドップラー効果
	4. 磁気共鳴	<ol style="list-style-type: none"> 1) ラジオ波 2) ラーモア公式 3) 化学シフト 4) 傾斜磁場 5) フーリエ変換 6) 周波数エンコーディング 7) 位相エンコーディング
II. 画像の成り立ち	1. 単純X線撮影	<ol style="list-style-type: none"> 1) 透過性 2) アナログ撮影 3) デジタル撮影 4) ピクセル (pixel) とボクセル (voxel) 5) マトリックスサイズ (matrix size)
	2. 一般造影	<ol style="list-style-type: none"> 1) 造影剤 2) 消化管造影 3) 尿路造影 4) 脊髓腔造影 5) 関節造影 6) 子宮卵管造影 7) 唾液腺造影
	3. 血管撮影	<ol style="list-style-type: none"> 1) Seldinger 法 2) カテーテル 3) ガイドワイヤー 4) カテーテルイントロデューサー 5) Digital Subtraction Angiography (DSA) 6) Interventional Radiology (IVR)
	4. 超音波 (US)	<ol style="list-style-type: none"> 1) プローブ 2) Bモード画像 3) パルスドブラ 4) カラードブラ 5) パワードブラ 6) 造影剤
	5. Computed Tomography (CT)	<ol style="list-style-type: none"> 1) CT値 2) ボクセル 3) 再構成関数 4) アーチファクト

大項目	中項目	小項目
Ⅲ. 画像解剖	6. Magnetic Resonance Imaging (MRI)	1) スピンエコー法 (spin echo SE 法) 2) 反転回復法 (inversion recovery, IR 法) 3) グラディエントエコー法 (gradient echo, GRE 法) 4) 縦緩和時間 5) 横緩和時間 6) Magnetic Resonance Angiography (MRA) 7) アーチファクト
	7. Radioisotope (RI)	1) シンチグラフィカメラ 2) Single Photon Emission Computed Tomography (SPECT) 3) Positron Emission Tomography (PET)
	1. 骨／関節	1) 肩 2) 上肢 3) 骨盤 4) 下肢
	2. 心／大血管	1) 心臓 2) 冠動脈 3) 大血管
	3. 胸部	1) 肺 2) 縦隔 3) 乳腺
	4. 消化器	1) 食道 2) 胃 3) 十二指腸 4) 小腸 5) 大腸 6) 肝 7) 胆嚢 8) 膵
	5. 泌尿器	1) 腎 2) 尿管 3) 膀胱
	6. 生殖器	1) 子宮 2) 卵巣 3) 精嚢 4) 前立腺
	7. 腹腔／後腹膜	1) 腹腔 2) 後腹膜
	8. 頭頸部	1) 副鼻腔 2) 唾液腺 3) 甲状腺 4) 咽頭 5) 喉頭
	9. 脊椎／脊髄	1) 頸椎 2) 胸椎 3) 腰椎 4) 仙椎 5) 脊髄 6) 椎体と椎弓 7) 椎間板

大項目	中項目	小項目
	10. 脳	1) 大脳 2) 小脳 3) 脳幹 4) 脳血管 5) 脳槽

科目名	病因と病態
科目責任者(所属)	倉田 厚

到達目標	<p>病因と病態は、疾病の原因、経過と転帰を形態学的に観察して疾患概念を統合的に把握することを目的とし、従来の基礎医学系 病理学総論 (General pathology) に属する学問領域である。 ここでは、人体における恒常性の破綻を、いくつかの基本型(多様な病因、形態変化、進展過程)をとおして理解する。具体的には、病態に関する一般概念(病因、遺伝、代謝障害、循環障害、感染-炎症-免疫、腫瘍)を、1) 医学用語の正しい理解、2) 形態変化とそれに伴う機能変化の理解、3) 病変成立と進展過程への考察と理解、4) 疾患概念の統合的把握、を目標として講義、実習がすすめられる。</p>			
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。</p> <p>文書の要約を作成できる。</p>	I-1-A-(1-2)-②		
学修(教育)方法	講義・実習			
評価方法 (1)総括的評価の対象	<p>定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。また、実習レポートの評価を加味することもある。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席とすべての実習への参加およびレポートの提出が受験資格として必要である。</p>			
評価方法 (2)評価項目	<p>1. 細胞傷害・変性と細胞死について説明できる。</p> <p>2. 遺伝子異常と発生・発達異常による疾患の成り立ちを説明できる。</p> <p>3. 代謝障害によって生ずる疾患の成り立ちを説明できる。</p> <p>4. 循環障害によって生ずる疾患について説明できる。</p> <p>5. 炎症と創傷治癒について説明できる。</p> <p>6. 腫瘍の成り立ちを説明できる。</p>	C-4-2)	C-4-1)	C-4-3)
評価方法 (3)評価基準	<p>上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>			
伝達事項	事前に講義資料のリンクより必要な資料をダウンロードしてください。			
教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年
	1.	『Robbins basic pathology』	Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster原著	Saunders 2018
				9780323353175
	2.	『Robbins and Cotran pathologic basis of disease』	Abul K. Abbas, Nelson Fausto, Jon C. Aster	Saunders 2021
				9780323531139
	3.	『ロビンス基礎病理学』	Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster原著	丸善 2018
				9784621301982
	4.	『解明病理学：病気のメカニズムを解く』	青笹克之編	医歯薬出版 2021
				9784263732038
	5.	『標準病理学』	北川昌伸, 仁木利郎編集	医学書院 2019
				9784260036597
	6.	『カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断』	赤木忠厚, 吉野正編	医歯薬出版 2020
				9784263731970
	7.	『組織病理アトラス』	小田義直 [ほか] 編集; 新井信隆 [ほか] 執筆	文光堂 2018
				9784830604768

				2020	
8.	『正常画像と比べてわかる病理アトラス』	下正宗, 長嶋洋治編	羊土社		9784758117722
			2015		
9.	『病理画像診断 これでスッキリ!』	梅澤 明弘, 黒田 雅彦編	メジカルビュー社		9784758300926
			2012		
関連リンク					
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/24(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	病理学序論、病因論			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-4)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2024/04/26(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	細胞傷害・適応反応・細胞死(1)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2024/04/26(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	細胞傷害・適応反応・細胞死(2)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-2)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)	3			
4.	2024/05/08(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	循環障害(1)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)	4			
5.	2024/05/13(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	循環障害(2)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	5			
6.	2024/05/14(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	循環障害(3)			

	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2024/05/15(水)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	循環障害			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/05/15(水)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	循環障害			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2024/05/27(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	代謝障害(1)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2024/05/28(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	代謝障害(2)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2024/05/29(水)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	代謝障害			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2024/05/29(水)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	代謝障害			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2024/06/04(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	遺伝子異常と疾患・発生発達異常(1)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)			13	
14.	2024/06/04(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	遺伝子異常と疾患・発生発達異常(2)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-1)④⑤,C-4-3)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)			14	
15.	2024/06/05(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	遺伝子異常と疾患・発生発達異常(3)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)			15	
16.	2024/06/05(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	免疫病理(1) 自己免疫			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-2)-(4)②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)			16	
17.	2024/06/07(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	免疫病理(2) 移植			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-2)-(4)②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)			17	
18.	2024/06/10(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	腫瘍(1)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)			18	
19.	2024/06/11(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	腫瘍(2)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)			19	
20.	2024/06/11(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	腫瘍(3)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)			20	

21.	2024/06/12(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	腫瘍(4)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-1)①②③,C-4-3)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2024/06/12(水)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	腫瘍			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2024/06/12(水)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	腫瘍			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2024/06/18(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	炎症と創傷治癒(1)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)②④			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2024/06/19(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	炎症と創傷治癒(2)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-1)⑥⑦,C-4-3)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2024/06/19(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	炎症と感染症			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2024/06/26(水)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	炎症			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				27

28.	2024/06/26(水)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	炎症			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太 岡村 幸宜 倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2024/07/16(火)	3時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	病因と病態(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2024/07/16(火)	4時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	病因と病態(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2024/08/20(火)	3時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	病因と病態(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2024/08/20(火)	4時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	病因と病態(追・再試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				32

〔病因と病態〕

大項目	中項目	小項目
I. 先天異常	1. 遺伝子異常	1) 常染色体優性・劣性遺伝疾患 2) 伴性優性・劣性遺伝疾患 3) ミトコンドリア遺伝疾患 4) 多因子遺伝疾患
	2. 染色体異常(配偶子病)	1) ダウン症候群 2) ターナー症候群 3) クラインフェルター症候群
	3. 受精後の異常	1) 胚芽病 2) 胎芽病 3) 胎児病 4) 周産期病
II. 細胞傷害	1. 適応現象	1) 細胞容積異常 (細胞萎縮・細胞肥大) 2) 細胞数異常 (細胞脱落・過形成) 3) 化生・細胞移行
	2. 変性	1) 細胞内物質異常蓄積 2) 細胞外基質異常蓄積
	3. 細胞死	1) 壊死 2) プログラム細胞死 アポトーシス オートファジー ネクローシス パータナトス
III. 代謝障害	1. 脂質代謝異常	1) 高脂血症 2) 脂肪肝 3) 動脈硬化 4) リピドーシス
	2. 糖代謝異常	1) 糖尿病 2) 糖原病
	3. 蛋白、アミノ酸代謝異常	1) アミロイドーシス 2) フェニルケトン尿症
	4. 核酸、ヌクレオチド代謝異常	1) レッシュナイハン症候群 2) 痛風
	5. 色素代謝異常	1) ビリルビン 2) メラニン 3) 鉄、銅、カルシウム代謝異常
	6. 無機質代謝異常	1) ヘモジデローシス 2) ヘモクロマトーシス

大 項 目	中 項 目	小 項 目
IV. 循環障害	1. 血流動態の特異性 2. 全身の循環障害 3. 局所の循環障害 4. ショック 5. リンパ流障害	3) ウイルソン病 4) 石灰沈着 1) 水腫、漏出 2) 充血、鬱血 3) 虚血 4) 出血 5) 血栓、塞栓 6) 梗塞 7) 傍側循環
V. 炎症、感染と創傷治癒	1. 防御反応としての炎症 2. 炎症の原因 3. 形態と分類 4. 組織の変化と全身への影響 5. 炎症の転帰 6. 炎症とケミカルメディエーター 7. 創傷治癒 8. 感染の病理	1) 急性、亜急性、慢性 2) 滲出性炎 漿液性炎 線維索性炎 化膿性炎 3) 増殖性炎 4) 肉芽腫性炎 1) 血管作動性アミン 2) 血漿プロテアーゼ連鎖系 3) アラキドン酸代謝産物 1) 再生 2) 修復 3) 肉芽組織形成 4) 瘢痕形成 1) 病原微生物 2) 感染経路 3) 感染と免疫 4) 日和見感染 5) 菌血症 6) 敗血症

大 項 目	中 項 目	小 項 目
VI. 免疫病理	1. 免疫不全 2. 自己免疫病 3. アレルギー反応 4. 移植と拒絶反応	7) 感染症における組織変化 1) 原発性免疫不全 2) 後天性免疫不全症候群 1) 臓器特異的自己免疫病 2) 全身性自己免疫病 1) I型（アナフィラキシー型） 2) II型（細胞傷害型） 3) III型（免疫複合体型） 4) IV型（遅延型） 5) V型（刺激型） 1) 超急性拒絶反応 2) 急性拒絶反応 3) 慢性拒絶反応
VII. 腫瘍	1. 腫瘍の成因 2. 臓器特異性 3. 腫瘍の病態と病期 4. 腫瘍と宿主	1) 癌遺伝子と癌抑制遺伝子 2) 化学発癌 3) 放射線と発癌 4) ウイルス発癌 1) 疫学 2) 遺伝 1) 腫瘍概念：良性、悪性腫瘍 上皮性、非上皮性腫瘍 2) 前癌病変 3) 潜在癌 4) 早期癌 5) 局所浸潤 6) 転移 7) 病期分類 1) 腫瘍免疫 2) 局所的影響 3) 全身的影響

科目名	治療の基礎
科目責任者(所属)	松浦 勝久

到達目標	<p>主として薬物および放射線を叩き台としその治療への応用の初歩的原理を習得する。薬物治療の基礎では薬物の人体に及ぼす作用(薬理作用)および、投与された薬物を人体がどう処理するか(ADME)について理解するのが目的である。特に、薬物の作用点として大切な受容体について自律神経作用薬及びオータコイドなどを例にとり学修する。疾患別治療薬は上級セグメントで学修するが、臨床への架け橋としてドラッグデリバリーシステム、麻酔薬、高血圧治療薬などの視点からも学修する。一方、実習を通じて、薬物動態、ED50、作用薬、拮抗薬の概念を確認し、また薬害について学ぶ。放射線治療の基礎では放射線の物理学的特性、物質との相互作用、生体への作用、などの知識を理解し、臨床部門への応用を考察する。カリキュラム実施にあたって留意すべき点は、1)放射線の種類、線量単位、2)放射線の物質との相互作用、3)放射線の生体への作用(分子と放射線、細胞死、細胞周期と放射線、生存曲線)、4)正常組織の放射線感受性、等である。</p>	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>データを読み解釈できる。 I-1-B-(1-2)-①</p> <p>実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①</p> <p>事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②</p> <p>医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②</p> <p>問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-①</p> <p>複数の問題解決法を考えることができる。 I-3-B-(1-2)-②</p> <p>結果に予想される誤差を考えられる。 I-3-C-(1-2)-②</p> <p>自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①</p> <p>研究・実習の報告書が作成できる I-4-B-(1-2)-②</p> <p>現象の原因・機序を検索できる。 I-5-A-(1-2)-①</p> <p>実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。 I-5-A-(1-2)-②</p> <p>真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②</p> <p>自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-①</p> <p>役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③</p> <p>学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-①</p> <p>学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-②</p>	
学修(教育)方法	講義・実習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	<p>上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行う。実習は全ての実習への参加を前提とし、実習レポートを、S.100点、A.90点、B.80点、C.70点、D.60点未満として点数化する。</p> <p>最終成績は、定期試験を95%、実習レポートを5%とした合計点とする。S.極めて良く理解している(90%以上)A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>	
評価方法 (2)評価項目	<p>1) 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-1-1)-①</p> <p>2) 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。 A-2-2)-③</p> <p>3) 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 A-8-1)-①</p>	

4) 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	A-8-1)-③
5) 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究(臨床研究、疫学研究、生命科学等)に参加することができる。	A-8-1)-④
6) 2群間の平均値の差を検定できる(群間の対応のあり、なしを含む)。	B-1-2)-①
7) カイ2乗検定法を実施できる。	B-1-2)-③
8) 研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス)を概説できる。	B-1-3)-③
9) 医学研究と倫理(それぞれの研究に対応した倫理指針と法律)を説明できる。	B-3-1)-①
10) 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。	B-3-1)-②
11) 臨床試験・治験と倫理性(ヘルシンキ宣言、第I・II・III・IV相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>))を説明できる。	B-3-1)-③
12) 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。	B-3-1)-④
13) 副作用と有害事象の違い、報告の意義(医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等)を説明できる。	B-3-1)-⑤
14) 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。	C-2-1)-(1)-②
15) 受容体による情報伝達の機序を説明できる。	C-2-3)-(1)-②
16) 細胞内シグナル伝達過程を説明できる。	C-2-3)-(1)-③
17) 生体の恒常性維持と適応を説明できる。	C-2-3)-(4)-①
18) 恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。	C-2-3)-(4)-②
19) 薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。	C-3-3)-(1)-①
20) 薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。	C-3-3)-(1)-②
21) 薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。	C-3-3)-(1)-③
22) 薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。	C-3-3)-(2)-①
23) 薬物の生体膜通過に影響する因子を説明できる。	C-3-3)-(2)-②
24) 薬物投与方法(経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等)を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。	C-3-3)-(2)-③
25) 薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。	C-3-3)-(3)-①
26) 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。	C-4-1)-⑦
27) 各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。	D-5-4)-(9)-③
28) ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	D-12-1)-①
29) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	D-12-1)-②
30) 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	D-12-1)-③
31) 甲状腺と副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	D-12-1)-④
32) 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	D-12-1)-⑤
33) 男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。	D-12-1)-⑦
34) 放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。	E-6-1)-①
35) 内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療を説明できる。	E-6-1)-②
36) 放射線及び電磁波の人体(胎児を含む)への影響(急性影響と晩発影響)を説明できる。	E-6-1)-③
37) 種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。	E-6-1)-④
38) 放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響を説明できる。	E-6-1)-⑥
39) 放射線被ばく低減の3原則と安全管理を説明できる。	E-6-1)-⑦
40) 放射線診断(エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、核医学)や血管造影及びインターベンショナルラジオロジーの利益とコスト・リスク(被ばく線量、急性、晩発影響等)を知り、適応の有無を判断できる。	E-6-2)-②
41) 放射線治療の生物学的原理と、人体への急性影響と晩発影響を説明できる。	E-6-2)-③
42) 医療被ばくに関して、放射線防護と安全管理を説明できる。	E-6-2)-④

43)放射線診断や治療の被ばくに関して、患者にわかりやすく説明できる。	E-6-2)-⑤
44)放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。	F-2-5)-③
45)薬物(オピオイドを含む)の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。	F-2-8)-①
46)各臓器系統(中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等)に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	F-2-8)-④
47)抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	F-2-8)-⑥
48)麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。	F-2-8)-⑦
49)主な薬物の有害事象を概説できる。	F-2-8)-⑧
50)年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。	F-2-8)-⑨
51)薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。	F-2-8)-⑩
52)処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。	F-2-8)-⑪
53)分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。	F-2-8)-⑫
54)ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用(アンチ・ドーピング等)を説明できる。	F-2-8)-⑭
55)麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。	F-2-10)-①
56)麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。	F-2-10)-③
57)吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。	F-2-10)-④
58)局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。	F-2-10)-⑥

評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行う。実習は全ての実習への参加を前提とし、実習レポートを、S.100点、A. 90点、B. 80点、C. 70点、D. 60点未満として点数化する。 最終成績は、定期試験を95%、実習レポートを5%とした合計点とする。S. 極めて良く理解している(90%以上)A.良く理解している(80%以上90%未満)B. 平均的に理解している(70%以上80%未満)C. 最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
-----------------	--

伝達事項	事前にWebClassから必要な資料をダウンロードしてください。
------	----------------------------------

教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『標準薬理学』	飯野正光, 鈴木秀典編集	医学書院 2021	9784260041638
	2.	『NEW薬理学』	田中千賀子, 加藤隆一編集	南江堂 2017	9784524260881
	3.	『医科薬理学』	遠藤政夫 [ほか] 編著	南山堂 2005	4525140445
	4.	『医系薬理学』	遠藤仁 [ほか] 編著	中外医学社 2005	4498003195
	5.	『カッツング薬理学エッセンシャル』	柳澤 輝行 監修	丸善出版 2021	9784621306369
	6.	『グッドマンギルマン薬理書 上・下』	グッドマン, ギルマン [編]	廣川書店 2013	9784567498005/ 9784567498012
	7.	『Rang and Dale's Pharmacology』	HP Rangほか	Elsevier 2016	9780702053627
	8.	『ハーバード大学講義テキスト:臨床薬理学』	David E. Golan [ほか] 著; 渡邊裕司監訳	丸善出版 2015	9784621089163
	9.	『薬がみえる vol. 1~4』	医療情報科学研究所	メディックメディア	9784896325492

			2015, 2020	
10.	『シンプル薬理学』	野村隆英[ほか]編著	南江堂 2020	9784524246588
11.	『エース薬理学』	金井好克	南山堂 2020	9784525140717
12.	『標準麻酔科学』	古家仁, 稲田英一, 森崎 浩、西脇公俊 編	医学書院 2018	9784260030304
13.	『SNPがかかえる疾患研究と新薬開発 (Bioベンチャー 1巻1号)』		羊土社 2001	9784897061405
14.	『ノックアウトマウスの創薬への応用 (日本薬理学雑誌 120巻5号)』		日本薬理学会 2002	
15.	『チロシンキナーゼの標的治療薬 (日本薬理学雑誌 122巻6号)』		日本薬理学会 2003	
16.	『日本医薬品集(医療薬・一般薬)』	日本医薬情報センター編集	じほう 年刊	
17.	『図解よくわかるTDM』	木村利美編著	じほう 2014	9784840745949
18.	『Radiobiology for the Radiologist』	Eric J. Hall, Amato J. Giaccia	Lippincott Williams & Wilkins 2000	
19.	『放射線治療物理学』	荒木不次男編著 日本医学物理学学会監修	国際文献社 2016	9784902590562
20.	『がん・放射線療法2017』	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之編著	学研メディカル秀潤社 2017	9784780909432
21.	『Clinical Radiation Oncology』	Leonard L. Gunderson, Joel E. Tepper	Saunders 2015	9780323240987
22.	『Perez and Brady's Principles and Practice of Radiation Oncology』	Edward C. Halperin	Lippincott Williams & Wilkins 2013	9781451116489
23.	『放射線医学物理学』	西臺武弘著	文光堂 2011	9784830642289
24.	『放射線治療物理学』	西臺武弘著	文光堂 2011	9784830642289
25.	『がんをどう考えるか：放射線治療医からの提言(新潮新書 295)』	三橋紀夫著	新潮社 2009	9784106102950
26.	『放射線医科学：生体と放射線・電磁波・超音波』	近藤隆 [ほか] 編集	学会出版センター 2007	9784762230554
27.	『放射線と健康(岩波新書)』	館野之男著	岩波書店 2001	4004307457
28.	『放射線基礎医学(Minor textbook)』	青山喬, 丹波太貴編著；木村博[ほか]著	金芳堂	4765311368

			2004	
29.	『「がんをくすりで治す」とは?』	丸 義朗 著	朝日新聞社 2007	4022599131
30.	『本格化する抗体医療 (Bioベンチャー 2巻4号)』		羊土社 2002	9784897061467
31.	『シグナル伝達研究から創薬へ (実験医学 20巻18号)』		羊土社 2002	
32.	『ポストゲノム時代の分子標的治療 (遺伝子医学 6巻2号)』		メディカルドゥ 2002	
33.	『漢方薬理学』	木村正康 編集	南山堂 1997	452576001X
34.	『中毒ハンドブック』	Kent R. Olson [著]; 石川敏夫 [ほか] 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 1999	4895921964
35.	『臨床薬物動態学』	加藤隆一	南江堂 2012	
36.	『図解で学ぶDDS 第2版』	橋田 充監修 高倉喜信 編集	じほう 2016	
37.	『医療系のための物理学入門』	木下順二 著	講談社 2017	9784061563254
38.	『グラフィック麻酔学 - 臨床が楽しくなる図・式・表』	長坂安子	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2018	9784815701239
39.	『Miller's Anesthesia, 9th ed., in 2 vols』	M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al(eds.)	ELSEVIER 2019	9780323596046
40.	『Basics of Anesthesia, 7th ed』	M.C.Pardo, Jr. & R.D.Miller	ELSEVIER 2018	9780323401159
41.	『周術期管理チームテキスト第3版』	公益社団法人日本麻酔科学会 会員(著), 日本手術看護学会 会員(著), 日本病院薬剤師会 会員(著), & 3 その他	日本麻酔科学会 2016	9784990526252
関連リンク	1.	厚生労働省ホームページ	http://www.mhlw.go.jp/	
	2.	(独)医薬品医療機器総合機構	https://www.pmda.go.jp	
	3.	薬事日報	http://www.yakuji.co.jp/	
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK				

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/09(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05

	タイトル	生体と薬物概論			
	担当者(所属)	松浦 勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-8)⑭, B-3-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2024/04/09(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	薬物の作用機序			
	担当者(所属)	松浦 勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③, C-3-3)-(3)①, F-2-8)①⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2024/04/10(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	体内動態と薬効(1)			
	担当者(所属)	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(2)①②③, F-2-8)⑨⑩⑪			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2024/04/10(水)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	体内動態と薬効(2)			
	担当者(所属)	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(2)①②③, F-2-8)⑨⑩⑪			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2024/04/11(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	薬物の作用機序(1) 中枢神経作用薬			
	担当者(所属)	出口 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)②③, C-2-3)-(1)①② ③, F-2-8)④⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2024/04/15(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	薬物の作用機序(2) オータコイド①			
	担当者(所属)	出口 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)②③, C-2-3)-(1)①② ③, F-2-8)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2024/04/16(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	薬物の作用機序(4) 自律神経作用薬①			
	担当者(所属)	出口 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)②③, C-2-3)-(1)①② ③, F-2-8)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/04/18(木)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			

	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③		
	講義資料番号/連番(LMS)	8		
9.	2024/04/18(木)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検		
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③		
	講義資料番号/連番(LMS)	9		
10.	2024/04/18(木)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 15:15-16:25
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検		
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③		
	講義資料番号/連番(LMS)	10		
11.	2024/04/22(月)	3時限	講義	講義室 303 12:30-13:40
	タイトル	薬物の作用機序(5) 自律神経作用薬②		
	担当者(所属)	出口 敦子		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)②③, C-2-3)-(1)①② ③, F-2-8)④		
	講義資料番号/連番(LMS)	11		
12.	2024/04/22(月)	4時限	講義	講義室 303 13:55-15:05
	タイトル	薬物の作用機序(3) オータコイド②		
	担当者(所属)	瀧田 守親		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)②, C-3-2)-(3)②		
	講義資料番号/連番(LMS)	12		
13.	2024/04/23(火)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 12:30-13:40
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検		
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③		
	講義資料番号/連番(LMS)	13		
14.	2024/04/23(火)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検		
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子		

		瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	14			
15.	2024/04/23(火)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	15			
16.	2024/04/25(木)	2時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	16			
17.	2024/04/25(木)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	17			
18.	2024/04/25(木)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	18			
19.	2024/04/25(木)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)	19			
20.	2024/04/26(金)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40

	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2024/04/26(金)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2024/04/26(金)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2024/05/07(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	薬物の作用機序(6) ホルモン拮抗薬			
	担当者(所属)	瀧田 守親			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-8)④, D-12-1)①②③④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2024/05/09(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 (大実習室2,大実習室3,303講義室,テュートリアル室17-19) ※対面のみで収録・配信なし			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2024/05/09(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 (大実習室2,大実習室3,303講義室,テュートリアル室17-19) ※対面のみで収録・配信なし			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2024/05/09(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25

	タイトル	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検（大実習室2,大実習室3,303講義室,テューリアル室17-19）※対面のみで収録・配信なし			
	担当者(所属)	松浦 勝久 出口 敦子 瀧田 守親 梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(1)①②③,C-3-3)-(2)①②③,C-3-3)-(3)①,F-2-8)①④⑦,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2024/05/15(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	薬物の作用機序(7) 毒物の応用			
	担当者(所属)	松浦 勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(2)-①			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2024/05/15(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	麻酔への応用			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)①③④⑥, C-3-3)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2024/05/20(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	ドラッグデリバリーシステム			
	担当者(所属)	中山 正道			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-3)-(2)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2024/05/21(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	高血圧への応用			
	担当者(所属)	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(9)-③			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2024/05/23(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	放射線の物理(1)			
	担当者(所属)	辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)-①⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2024/05/23(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	放射線の物理(2)			
	担当者(所属)	辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)-①, E-6-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2024/05/30(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	薬物の作用機序(8) 分子標的薬			
	担当者(所属)	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-8)④⑥⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2024/06/03(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	生体と放射線(1)			
	担当者(所属)	藤田 真由美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)①③④, E-6-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2024/07/03(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	生体と放射線(2)			
	担当者(所属)	金井 貴幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)①④, F-2-5)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2024/07/03(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	人体と放射線			
	担当者(所属)	川井 佐和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)①②③④⑦, E-6-2)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2024/07/12(金)	3時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	治療の基礎(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2024/07/12(金)	4時限	試験	講義室 302 講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	治療の基礎(試験)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2024/08/19(月)	3時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	治療の基礎(追・再試)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2024/08/19(月)	4時限	追・再試験	講義室 203	13:00-14:30
	タイトル	治療の基礎(追・再試)			

担当者(所属)	--	
コアカリキュラム/S10国試出題基準		
講義資料番号/連番(LMS)		40

[治療の基礎]

大項目	中項目	小項目
I. 薬物と生体の相互作用	1. 生体と薬物概論	1) 薬の概念 a) 薬の歴史 b) 薬の種類、薬局方 c) 薬と法律 d) 治療 2) 薬理作用 a) 薬理作用の基本形式（興奮、抑制等） b) 作用部位 c) 作用の選択性、特異性 d) 主作用、副作用、有害作用
	2. 薬物の作用機序	1) 薬物受容体 2) 薬物の構造活性相関 3) 細胞内情報伝達系 4) 受容体を介さない作用
	3. 用量と反応の関係	1) 治療量、致死量（ED50、LD50） 2) 毒薬、劇薬、普通薬 3) 用量－反応曲線
	4. 薬物の体内動態	1) 薬物血中濃度 2) 吸収 3) 体内分布 4) 薬物代謝 5) 排泄
	5. 薬物に影響する因子	1) 用量・投与方法 2) 年齢・性 3) プラセボ 4) 感受性 5) 薬物相互作用 6) 耐性・依存性
II. 薬物の作用機序	1. 自律神経作用薬	1) 自律神経系の伝達物質 2) 受容体の分類と作用機序 a) 交感神経系 b) 副交感神経系 c) 自律神経節 3) 毒素による機能解析
	2. 中枢神経作用薬	1) 中枢神経抑制薬の作用機序 a) 睡眠薬 b) 抗不安薬 c) 抗精神病薬 d) 鎮痛薬
	3. オータコイド	1) オータコイドの概念 2) 合成、分布、受容体および作用 a) ヒスタミン b) セロトニン c) アンジオテンシン他 d) エイコサノイドとサイトカイン

III. 薬物の利用	4. ホルモン拮抗薬	<ul style="list-style-type: none"> 1) 抗甲状腺薬 2) 女性ホルモン拮抗薬 3) 男性ホルモン拮抗薬 4) 副腎皮質ホルモン合成阻害薬 5) アルドステロン拮抗薬
	5. 分子標的薬	<ul style="list-style-type: none"> 1) 分子標的薬の論理 <ul style="list-style-type: none"> a) 特異的疾患関連分子と薬 b) 分子を標的とする理由 c) 癌の分子標的薬
	1. ドラッグデリバリーシステム	<ul style="list-style-type: none"> 1) 薬物放出量の制御 <ul style="list-style-type: none"> a) 長期徐放性（リユープロライド等） b) 経皮吸収（ニトログリセリン、ホルモン等） 2) 薬物の標的制御 <ul style="list-style-type: none"> a) Active Targeting（ミサイルドラッグ） b) Passive Targeting（細網内皮系からの回避） 3) 薬物の時間制御 <ul style="list-style-type: none"> a) 薬物放出の ON-OFF 制御 b) 自己制御型システム（人工膵臓等） c) 環境探知型制御システム
	2. 麻酔	<ul style="list-style-type: none"> a) 吸入麻酔薬 b) 静脈麻酔薬 c) その他麻酔関連薬剤
	3. TDM	<ul style="list-style-type: none"> 1) 血中薬物濃度 <ul style="list-style-type: none"> a) コンパートメントモデル b) 分布容積、クリアランス、半減期 c) 有効血中濃度 2) 薬物投与計画 <ul style="list-style-type: none"> a) 薬物血中濃度測定法 b) 腎臓・肝臓・心臓機能障害、高齢者
IV. 放射線の種類	1. 電磁放射線	1) X 線、 γ 線
	2. 粒子放射線	1) α 線、 β 線、電子線、陽子線、重粒子線、中性子線
V. 放射線の物理	1. 原子核と放射線	<ul style="list-style-type: none"> 1) 原子核の構造、核反応式、核崩壊 2) 原子核の結合エネルギー 3) 放射線の単位
	2. 放射線の減衰	<ul style="list-style-type: none"> 1) 放射能、半減期 2) 電磁放射線の減衰、吸収係数 3) 粒子放射線の減衰、飛程
VI. 人体と放射線	1. 身体的影響	<ul style="list-style-type: none"> 1) 組織の放射線感受性 2) 全身照射、局所照射 3) 骨髄死、腸管死、中枢死 4) 早期有害事象

		5) 後期有害事象 6) 晩期有害事象
	2. 胎内被曝の影響	1) 妊娠時期と胎児の放射線感受性 2) 女性の放射線診断
	3. 遺伝的影響	1) 生殖腺線量 2) 遺伝有意線量
	4. 放射線の確率的・確定的影響	1) 閾値、回復 2) 直線閾値なしモデル 3) 重症度、リスク
	5. 細胞と放射線	1) 水と放射線 2) 細胞死 3) DNA 損傷、DNA 回復 4) 分子と放射線 5) ベルゴーニ・トリボンドーの法則 6) 細胞周期と放射線 7) 細胞の回復 (4R) 8) 確定的影響 9) 生存率曲線、コロニー形成能 10) α / β 比 11) 放射線誘発アポトーシス 12) 細胞の放射線応答とシグナル伝達 13) 生存シグナルと放射線
	6. 放射線感受性	1) 正常組織の放射線感受性 2) 個体の放射線感受性 3) 正常組織と放射線感受性
	7. 照射効果の修飾	1) 酸素効果 2) 温熱効果 3) 線量率効果 4) 線エネルギー付与 (LET) 5) 線量分割 6) 放射線増感剤 7) 放射線防護剤
VII. 放射線被曝	1. 被曝の形態	1) 内部被曝、外部被曝 2) 自然放射線、人工放射線、医療被曝
	2. 被曝線量	1) 放射線荷重係数 2) 組織荷重係数 3) 実効線量、預託実行線量 4) 実効線量計数
	3. 放射線防護体系	1) 正当化、最適化、線量限度
VIII. 放射線の利用	1. 原子力発電	1) ウラン、プルトニウム 2) 軽水炉、高速増殖炉
	2. 放射線の医学以外の利用	3) 農業利用、工業利用

科目名	「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)	西村 勝治

到達目標	<p>教育理念 本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「至誠と愛」の実践学修では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの5本の柱の下に構成されている。</p> <p>【6本の柱】 (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力(患者を理解する力、支持する力、意志を通ずる力、患者医師関係) (2) 専門職としての使命感(医学と社会に奉仕する力) (3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ (4) 医療人としての倫理—解釈と判断(法と倫理に基づく実践力) (5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル(医師とし女性医師として生涯研鑽する姿勢) (6) 自校の理念、歴史を知る(自校教育)</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>セグメント3、セグメント4共通</p> <p>実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p> <p>医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①</p> <p>自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①</p> <p>社会的規範を守った生活ができる。 I-6-A-(1-2)-①</p> <p>学則を守った学生生活ができる。 I-6-A-(1-2)-②</p> <p>個人情報保護について説明できる。 I-6-B-(1-2)-①</p> <p>他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-①</p> <p>他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-②</p> <p>他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②</p> <p>様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①</p> <p>社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①</p> <p>学修上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-①</p> <p>目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-②</p> <p>省察(振り返り)を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③</p> <p>卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④</p> <p>社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-①</p> <p>自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-①</p> <p>社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-①</p> <p>共通の目標を設定できる。 II-4-B-(1-2)-①</p> <p>活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-②</p> <p>意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。 II-4-B-(1-2)-③</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p>

	<p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II-4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③</p> <p>他者の話を聴くことができる。 II-4-C-(1-2)-①</p> <p>対話の中で相手の述べることを要約できる。 II-4-C-(1-2)-②</p> <p>役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③</p> <p>グループ目標達成のために行動できる。 II-4-C-(3-4)-①</p> <p>講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②</p> <p>学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-①</p> <p>学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-②</p> <p>セグメント3のみ</p> <p>医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる I-2-C-(1-2)-②</p> <p>結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-①</p> <p>文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③</p> <p>自己学修の結果を適切に伝えられる。 I-4-C-(1-2)-③</p> <p>倫理の概念について説明することができる。 I-6-B-(1-2)-②</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>研究倫理の概念について述べるができる。 I-6-C-(1-2)-①</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①</p> <p>医学研究の重要性について概説できる。 II-3-B-(1-2)-①</p> <p>医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-②</p> <p>自分の考えの根拠を説明できる II-4-A-(1-2)-①</p> <p>医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。 II-5-A-(1-2)-①</p> <p>困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-②</p> <p>セグメント4のみ</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-②</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②</p> <p>社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-①</p>
学修(教育)方法	講義・WS、実習、行事、ディスカッション、ディベート、グループワーク
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義と行事の課題の評価点を25%、ワークショップと実習の学修成果の評価点を75%で評価する。 ただし、課題は当該項目の授業(講義、ワークショップ、実習、行事)へ出席した者のみに提出する資格がある。 なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。
評価方法 (2)評価項目	<p>セグメント3、セグメント4共通</p> <p>患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-1-2)②</p> <p>必要な課題を自ら発見できる。 A-2-1)①</p> <p>課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 A-2-1)④</p> <p>適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-2-1)⑤</p> <p>得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-2-2)②</p>

実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	A-2-2)③
コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	A-4-1)①
コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	A-4-1)②
患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③
患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
患者に分かりやすい言葉で説明できる。	A-4-2)②
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
患者のプライバシーに配慮できる。	A-4-2)⑥
患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	A-4-2)⑦
チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①
医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	A-5-1)②
自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	A-5-1)③
保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。	A-5-1)④
実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
生涯学修の重要性を説明できる。	A-9-1)①
生涯にわたる継続的学修に必要な情報を収集できる。	A-9-1)②
キャリア開発能力を獲得する。	A-9-1)③
病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。	B-4-1)②
自身が所属する文化を相対化することができる。	B-4-1)③
人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。	B-4-1)④
社会をシステムとして捉えることができる。	B-4-1)⑧
多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。	B-4-1)⑬
具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。	B-4-1)⑭
リハビリテーションの概念と適応(心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む)を説明できる。	F-2-14)①
リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。	F-2-14)②
福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。	F-2-14)③
理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。	F-2-14)⑥
在宅医療の在り方、今後の必要性和課題を概説できる。	F-2-15)①
在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。	F-2-15)②
在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。	F-2-15)④
地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。	F-2-15)⑦
臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。	F-2-3)①
臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。	F-2-3)②
臨床検査の安全な実施方法(患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理)を説明できる。	F-2-3)③
適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。	F-3-2)①
身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。	F-3-5)⑤

	<p>セグメント3のみ</p> <p>診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 A-1-3)①</p> <p>自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 A-2-1)②</p> <p>課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-2-1)③</p> <p>講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-2-2)①</p> <p>各自の興味に応じて選択制カリキュラム(医学研究等)に参加する。 A-2-2)⑤</p> <p>研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 A-8-1)①</p> <p>医学研究と倫理(それぞれの研究に対応した倫理指針と法律)を説明できる。 B-3-1)①</p> <p>臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。 B-3-1)②</p> <p>在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。 B-4-1)⑫</p> <p>乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。 E-7-2)②</p> <p>乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。 E-7-2)③</p> <p>セグメント4のみ</p> <p>患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 A-1-3)②</p> <p>医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 A-1-3)③</p> <p>医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 A-1-3)④</p> <p>病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等)を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。 A-3-1)①</p> <p>患者の病状(症状、身体所見、検査所見等)、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。 A-3-1)⑤</p> <p>患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 A-7-2)①</p> <p>地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-7-2)②</p> <p>保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 A-7-2)③</p> <p>病理解剖、法医解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)を説明できる。 B-2-1)⑤</p> <p>人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。 B-4-1)⑤</p> <p>文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。 B-4-1)⑥</p> <p>病人役割を概説できる。 B-4-1)⑨</p> <p>患者の死後の家族ケア(悲嘆のケア(グリーフケア))を説明できる。 E-9-1)⑩</p>																				
<p>評価方法 (3)評価基準</p>	<p>上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>																				
<p>伝達事項</p>	<p>①形成的評価(学生の成長のためのフィードバックとしての評価)として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物(課題については既定の文字数、内容を満たしていること)が評価対象となる。 ②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。 ③準備学修(予習・復習)の具体的な内容およびこれに必要な時間:あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間+1.0時間。</p>																				
<p>教科書・参考図書</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段:出版社 下段:出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『セグメント3、セグメント4共通』</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』</td> <td>吉岡弥生女史伝記編集委員会</td> <td>日本図書センター 2019</td> <td>9784820543084</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『人間関係教育と行動科学テキストブック(第3版)-至誠と愛の実践学修-』</td> <td>東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会編</td> <td>三恵社</td> <td>9784864873642</td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN	1.	『セグメント3、セグメント4共通』				2.	『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編集委員会	日本図書センター 2019	9784820543084	3.	『人間関係教育と行動科学テキストブック(第3版)-至誠と愛の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会編	三恵社	9784864873642
No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN																	
1.	『セグメント3、セグメント4共通』																				
2.	『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編集委員会	日本図書センター 2019	9784820543084																	
3.	『人間関係教育と行動科学テキストブック(第3版)-至誠と愛の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会編	三恵社	9784864873642																	

			2018	
4.	『患者の権利とは何か(岩波ブックレット No.297)』	鈴木利廣	岩波書店 1993	400032372
5.	『インフォームド・コンセント(NHKブックス 711)』	森岡恭彦	日本放送出版協会 1994	4140017112
6.	『日本の医の倫理: 歴史と現代の課題』	関根透	学建書院 1998	4762406066
7.	『人間の詩と真実: その心理学的考察』	霜山徳爾著	中央公論社 1978	9784121005243
8.	『ユーモアは老いと死の妙薬: 死生学のすすめ』	アルフォンス・デーケン著	講談社 1995	4062079488
9.	『シリーズ生命倫理学 1 生命倫理学の基本構図』	今井道夫, 森下直貴責任編集	丸善出版 2012	9784621084786
10.	『出生と死をめぐる生命倫理: 連続と不連続の思想』	仁志田博司著	医学書院 2015	9784260024013
11.	『コンプレックス(岩波新書 青-808)』	河合隼雄著	岩波書店 1971	400412073X
12.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション: 誤解・失敗・すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	9784641281080
13.	『平静の心: オスラー博士講演集 新訂増補版』	オスラー[述]; 日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
14.	『対話のレッスン』	平田オリザ著	小学館 2001	409387350X
15.	『医者が心をひらくとき —a piece of my mind—(上)』	ロクサーヌ・K・ヤング編; 李啓充訳	医学書院 2002	4260138995
16.	『医者が心をひらくとき —a piece of my mind—(下)』	ロクサーヌ・K・ヤング編; 李啓充訳	医学書院 2002	4260139002
17.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦著	医歯薬出版 2003	4263234170
18.	『病院ボランティア —やさしさのこころとかたち—』	日本病院ボランティア協会編	中央法規出版 2001	4805821450
19.	『対人援助の基礎(ワークブック社会福祉援助技術演習1)』	山田容著	ミネルヴァ書房 2003	462303853X
20.	『科学論入門 (岩波新書)』	佐々木力	岩波書店 1996	4004304571
21.	『医療倫理Q & A』	関東医学哲学・倫理学会	太陽出版 2013	9784884697693
22.	『生命倫理事典』	酒井昭夫	太陽出版 2010	9784884696672

	23.	『学生のための医療概論』	千代豪昭	医学書院 2012	9784260015400
	24.	『保健医療ソーシャルワーク原論』	日本医療社会事業協会編	相川書房 2006	4750103403
	25.	『病院ボランティアへの招待(青い鳥文庫)』	広瀬夫佐子	富士福祉事業団 2001	4805821450
	26.	『「利他」とは何か(集英社新書)』	伊藤亜紗編	集英社 2021	4087211584
	27.	『世界は贈与でできている——資本主義の「すきま」を埋める倫理学』	近内悠太	NewsPicks/パブリック シング 2020	4910063056
	28.	『命は誰のものか(ディスカヴァー新書 42)』	香川知晶著	ディスカバートウエンティ ワン 2009	9784887597341
	29.	『22世紀の医師のリアル』	西崎祐史、志水太郎、上原由紀 編	メジカルビュー社 2023	9784758317863-C3047
関連リンク					
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/11(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	社会規範教育(1)			
	担当者(所属)	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②, A-2-2)②, A-4-1)③, A-4-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2024/04/17(水)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	自省と気付き(2-1)「自己と他者の人間性を認める」			
	担当者(所属)	辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②, A-1-3)①, A-2-1)④⑤, A-2-2)②③, A-9-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2024/04/24(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	医療コミュニケーション(1)「医療者の認識、患者・家族の認識」			
	担当者(所属)	西村 勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①④, B-4-1)②④⑩,			
	講義資料番号/連番(LMS)				3

4.	2024/05/16(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	医療コミュニケーション(2)「ナラティブ・ペイスト・メディスン」			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-4-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2024/05/22(水)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 石垣 景子 菊田 幸子 辻村 貴子 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01, PR-01-01-02, PR-01-02-01, PR-01-02-02, PR-02-01-01, PR-02-01-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, PR-02-03-01, PR-02-03-02, LL-01-01-01, LL-01-01-02, LL-01-02-01, LL-01-02-02, LL-02-01-01, LL-02-01-02, LL-02-01-03, RE-01-01-01, RE-01-01-02, RE-01-02-01, RE-01-02-02, SO-04-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2024/05/22(水)	4時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 石垣 景子 菊田 幸子 辻村 貴子 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01, PR-01-01-02, PR-01-02-01, PR-01-02-02, PR-02-01-01, PR-02-01-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, PR-02-03-01, PR-02-03-02, LL-01-01-01, LL-01-01-02, LL-01-02-01, LL-01-02-02, LL-02-01-01, LL-02-01-02, LL-02-01-03, RE-01-01-01, RE-01-01-02, RE-01-02-01, RE-01-02-02, SO-04-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2024/05/22(水)	5時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 石垣 景子 菊田 幸子 辻村 貴子 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01, PR-01-01-02, PR-01-02-01, PR-01-02-02, PR-02-01-01, PR-02-01-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, PR-02-03-01, PR-02-03-02, LL-01-01-01, LL-01-01-02, LL-01-02-01, LL-01-02-02, LL-02-01-01, LL-02-01-02, LL-02-01-03, RE-01-01-01, RE-01-01-02, RE-01-02-01, RE-01-02-02, SO-04-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/05/23(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	女性医師の系譜(自校教育)			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-9-1)①,B-4-1)③⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2024/05/31(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	チーム医療(6)「リハビリに携わる職種・部門を知る」			
	担当者(所属)	古江 俊一 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2024/06/14(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	チーム医療(7)「検査に携わる職種、部門を知る」			
	担当者(所属)	三浦 ひとみ 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2024/06/20(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	チーム医療(8)「医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る」			
	担当者(所属)	縄島 正之 辻村 貴子 大塚 祐輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2024/06/27(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	利他を考える			
	担当者(所属)	西井 明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4-1)①②③,A-4-2)①,B-4-1)⑥⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2024/07/19(金)	4時限	講義	講義室 302 講義室 303	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(9)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2024/07/19(金)	5時限	講義	講義室 302 講義室 303	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(9)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-02-01, GE-01-03-01,IP-02-04-01,			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2024/07/19(金)	6時限	講義	講義室 302 講義室 303	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(9)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-02-01, GE-01-03-01,IP-02-04-01,			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2024/09/04(水)	1時限	講義・ワークショップ	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	医療コミュニケーション(3)ワークショップ「シネメディケーション」			
	担当者(所属)	吉永 健太郎 石山 みどり 浦瀬 香子 石井 泰雄 竹村 洋典			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②		
	講義資料番号/連番(LMS)			
	2024/09/04(水)	2時限	講義・ワークショップ	講義室 303
	タイトル	医療コミュニケーション(3)ワークショップ「シネメディケーション」		
17.	担当者(所属)	吉永 健太郎 石山 みどり 浦瀬 香子 石井 泰雄 竹村 洋典		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②		
	講義資料番号/連番(LMS)			
	2024/09/04(水)	3時限	講義・ワークショップ	講義室 303 大実習室 1 大実習室 3 チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30
18.	担当者(所属)	吉永 健太郎 石山 みどり 浦瀬 香子 石井 泰雄		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②		
	講義資料番号/連番(LMS)			
	2024/09/04(水)	4時限	講義・ワークショップ	講義室 303 大実習室 1 大実習室 3 チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30
19.	担当者(所属)	吉永 健太郎 石山 みどり 浦瀬 香子 石井 泰雄		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②		
	講義資料番号/連番(LMS)			
	2024/09/11(水)	3時限	講義・ワークショップ	講義室 303
	タイトル	チーム医療(9)「実習振り返りワークショップ」		
	担当者(所属)	浦瀬 香子 辻村 貴子		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)④⑤,A-2-2)②③,A-3-1)⑤,A-5-1)①②③④,A-6-1)①,B-4-1)②③⑧⑩		

	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2024/09/11(水)	4時限	講義・ワークショップ	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療(9)「実習振り返りワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)④⑤,A-2-2)②③,A-3-1)⑤,A-5-1)①②③④,A-6-1)①,B-4-1)②③⑧⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2024/10/03(木)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
23.	2024/10/03(木)	4時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30
24.	2024/10/03(木)	5時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				31
25.	2024/10/17(木)	5時限	実習	講義室 303 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「外来患者付き添い実習ガイダンス」			
	担当者(所属)	篠崎 和美 山口 俊夫 辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-4-1)②③,A-4-2)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
26.	2024/10/31(木)	1時限	実習	講義室 303 大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「外来患者付き添い実習」			
	担当者(所属)	篠崎 和美 山口 俊夫 辻野 賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①~⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
27.	2024/10/31(木)	2時限	実習	講義室 303 大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「外来患者付き添い実習」			
	担当者(所属)	篠崎 和美 山口 俊夫			

		辻野 賢治		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①~⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭		
	講義資料番号/連番(LMS)			24
28.	2024/10/31(木)	3時限	実習	講義室 303 大実習室 3 12:30-13:40
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「外来患者付き添い実習」		
	担当者(所属)	篠崎 和美 山口 俊夫 辻野 賢治		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①~⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭		
	講義資料番号/連番(LMS)			25
29.	2024/10/31(木)	4時限	実習	講義室 303 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「外来患者付き添い実習」		
	担当者(所属)	篠崎 和美 山口 俊夫 辻野 賢治		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①~⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭		
	講義資料番号/連番(LMS)			26
30.	2024/11/13(水)	3時限	実習	講義室 303 大実習室 1 大実習室 3 12:30-13:40
	タイトル	解剖慰霊祭ワークショップ		
	担当者(所属)	木林 和彦 藤枝 弘樹 吉武 久美子 石津 綾子 吉田 千鶴 倉田 厚		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)⑤,A-5-1)①,E-9-1)⑩		
	講義資料番号/連番(LMS)			27
31.	2024/11/13(水)	4時限	実習	講義室 303 大実習室 1 大実習室 3 13:55-15:05
	タイトル	解剖慰霊祭ワークショップ		
	担当者(所属)	木林 和彦 藤枝 弘樹 吉武 久美子 石津 綾子 吉田 千鶴 倉田 厚		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)⑤,A-5-1)①,E-9-1)⑩		
	講義資料番号/連番(LMS)			28

〔「至誠と愛」の実践学修〕

科目責任者：西村 勝治（精神医学）

東京女子医科大学医学部 「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。

卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、*印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページに示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

- I 習慣・マナー・こころ
 - A 人として・医学生として
 - 1. 人間性
 - 2. 態度
 - 3. 人間関係
 - 4. 一般社会・科学に於ける倫理
 - B 医師（医人）として
 - 1. 医人としての人間性
 - 2. 医人としての態度
 - 3. 医人としての人間関係
 - 4. 医療の実践における倫理
 - 5. 女性医師の資質
- II 技能・工夫・努力
 - A 人と人との信頼
 - 1. 人としての基本的コミュニケーション
 - 2. 医人としての基本的コミュニケーション
 - 3. 医療面接におけるコミュニケーション
 - 4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
 - 5. 医療における説明・情報提供
 - B 信頼できる情報の発信と交換
 - 1. 診療情報
 - 2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

I 習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

(自分)

- 1) 生きていることの意味・ありがたさを表現できる。
- 2) 人生における今の自分の立場を認識できる。
- 3) 自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

(他者の受け入れ)

- 4) 他の人の話を聴き理解することができる。
- 5) 他の人の特性や価値観を受け入れることができる。
- 6) 他の人の喜びや苦しみを理解できる。
- 7) 温かいこころをもって人に接することができる。
- 8) 人の死の意味を理解できる。

(自分と周囲との調和)

- 9) 自分の振る舞い・言動の他者への影響を考慮することができる。
- 10) 他の人に適切な共感的態度が取れる。
- 11) 他の人と心を開いて話し合うことができる。
- 12) 他の人の苦しみ・悲しみを癒すように行動できる。
- 13) 他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

(人・社会人として)

- 14) 場に即した礼儀作法で振舞える。
- 15) 自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
- 16) 自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。
- 17) 自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。
- 18) 話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

(医学を学ぶものとして)

- 19) 人間に関して興味と関心を持てる。
- 20) 自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。
- 21) 学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。
- 22) 動機・目標を持って自己研鑽できる。
- 23) 要点を踏まえて他の人に説明できる。
- 24) 社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

(人・社会人として)

- 25) 人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。
- 26) 学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。
- 27) 信頼に基づく人間関係を確立できる。
- 28) 対立する考えの中で冷静に振舞える。

(医学を学ぶものとして)

- 29) 共通の目的を達成するために協調できる。
- 30) 対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

(社会倫理)

- 31) 社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。
- 32) 法を遵守する意義について説明できる。

- 33) 自分の行動の倫理性について評価できる。
- 34) 自分の行動を倫理的に律することができる。
- 35) 個人情報保護を実践できる。
- 36) 他の人・社会の倫理性について評価できる。

(科学倫理)

- 37) 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。
- 38) 科学研究上の倫理を説明し実践できる。
- 39) 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。
- 40) 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

(自己)

- 1) 健康と病気の概念を説明できる。
- 2) 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。
- 3) 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。
- 4) 患者／家族のニーズを説明できる。
- 5) 生の喜びを感じるができる。
- 6) 誕生の喜びを感じるができる。
- 7) 死を含む Bad news の受容過程を説明できる。
- 8) 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

(患者・家族)

- 9) 診療を受ける患者の心理を理解できる。
- 10) 患者医師関係の特殊性について説明できる。
- 11) 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。
- 12) 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。
- 13) 病者を癒すことの喜びを感じるができる。
- 14) 家族の絆を理解できる。
- 15) 親が子供を思う気持ちが理解できる。
- 16) 死を含む Bad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。
- 17) 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

(チーム医療、社会)

- 18) 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。
- 19) 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

(自己)

- 1) 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。
- 2) 臨床能力を構成する要素を説明できる。
- 3) チーム医療を説明できる。
- 4) 患者の自己決定権を説明できる。
- 5) 患者による医療の評価の重要性を説明できる。
- 6) 多様な価値観を理解することができる。

(患者・家族)

- 7) 傾聴することができる。
- 8) 共感を持って接することができる。
- 9) 自己決定を支援することができる。

- 10) 心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。(Narrative-based medicine, NBM)
 - 11) 患者から学ぶことができる。
 - 12) 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。
 - 13) 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。*
 - 14) 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。
 - 15) 患者満足度を判断しながら医療を行える。*
- (チーム医療、社会)
- 16) 医療チームの一員として医療を行える。
 - 17) 必要に応じて医療チームを主導できる。*
 - 18) クリニカル・パスを説明できる。
 - 19) 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。*
 - 20) トリアージが実践できる。
 - 21) 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
 - 22) 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。*
 - 23) 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
 - 24) 特殊な状況(僻地、国際医療)、困難な環境(災害、戦争、テロ)でチーム医療を実践できる。*
- ### 3. 医人としての人間関係
- (自己)
- 1) 患者医師関係の歴史的変遷を概説できる。
 - 2) 患者とのラポールについて説明できる。
 - 3) 医療チームにおける共(協)働(コラボレーション)について説明できる。
- (患者・家族)
- 4) 医療におけるラポールの形成ができる。
 - 5) 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
 - 6) 患者解釈モデルを実践できる。
- (チーム医療、社会)
- 7) 患者医師関係を評価できる。
 - 8) 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
 - 9) 360度評価を実践できる。*
- ### 4. 医療の実践における倫理
- (自己)
- 1) 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
 - 2) 患者の基本的権利について説明できる。
 - 3) 患者の個人情報を守秘することができる。
 - 4) 生命倫理について概説できる。
 - 5) 生命倫理の歴史的変遷を概説できる。
 - 6) 臨床研究の倫理を説明できる。
- (患者・家族)
- 7) 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を実践できる。
 - 8) 事前指示・DNR指示に配慮した臨床判断を実践できる。*
- (チーム医療、社会)
- 9) 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。
 - 10) 自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。
 - 11) 臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。*
 - 12) 医療および臨床試験の倫理を評価できる。*

5. 女性医師の資質・特徴

(自己)

- 1) 東京女子医科大学創立の精神を述べることができる。
- 2) 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。
- 3) 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。
- 4) 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。

(患者・家族)

- 5) 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。
- 6) 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。
- 7) 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。

(チーム医療、社会)

- 8) 保健・公衆衛生における女性の役割を述べるができる。
- 9) 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
- 10) 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
- 11) 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を実践できる。*

II 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

(自己表現)

- 1) 挨拶、自己紹介ができる。
- 2) コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。
- 3) 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。
- 4) 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。
- 5) 様々な情報交換の手段（文書・電話・eメールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。

(対同僚・友人・教員)

- 6) 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。
- 7) 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。
- 8) 同僚に正確に情報を伝達できる。
- 9) 他の人からの情報を、第3者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

(対患者・家族)

- 1) 患者に分かりやすい言葉で説明できる。
- 2) 患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。
- 3) 患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。
- 4) 患者の非言語的コミュニケーションがわかる。
- 5) 小児・高齢の患者の話聞きくことができる。
- 6) 障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話聞くことができる。
- 7) 家族の話聞くことができる。
- 8) 患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。

(対医療チーム・社会)

- 9) チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）ができる。
- 10) 医療連携のなかで情報交換ができる。
- 11) 救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。*
- 12) 社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

(基本的技能)

- 1) 自己紹介を含む挨拶を励行できる。
- 2) 基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
- 3) 患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
- 4) 患者の不安な気持ちに配慮した医療面接が行える。
- 5) 共感的声かけができる。
- 6) 診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
- 7) 適切な環境を設定できる。

(高次的技能)

- 8) 小児の医療面接を行える。
- 9) 高齢者の医療面接を行える。
- 10) 患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。*

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

(基本的技能)

- 1) 身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
- 2) 身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。
- 3) 説明しながら診察・検査を行うことができる。
- 4) 患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
- 5) 診察・検査結果を患者に説明できる。

(高次的技能)

- 6) 患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
- 7) 検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

(基本的技能)

- 1) 医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
- 2) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
- 3) 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。
- 4) 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
- 5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
- 6) 患者に診断過程の説明を行うことができる。
- 7) 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
- 8) 患者に医療の不確実性について説明することができる。
- 9) 患者に EBM (Evidence Based Medicine) に基づく情報を説明できる。
- 10) セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

(高次的技能)

- 11) 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
- 12) 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
- 13) 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。*
- 14) 患者の受容に配慮した Badnews の告知ができる。*
- 15) 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。*
- 16) 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。*
- 17) 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。*
- 18) セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。*
- 19) 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。*
- 20) 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。*

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

(基本的技能)

- 1) POMR に基づく診療録を作成できる。
- 2) 診療録の開示を適切に行える。
- 3) 処方箋の正しい書き方を理解している。
- 4) 診療情報の守秘を実践できる。

(高次的技能)

- 5) 病歴要約を作成できる。
- 6) 紹介状・診療情報提供書を作成できる。
- 7) 医療連携のため適切に情報を伝達できる。
- 8) 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

(基本的技能)

- 1) 医療安全管理について概説できる。
- 2) 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。
- 3) 医療安全管理に配慮した行動ができる。
- 4) 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

(高次的技能)

- 5) 医療事故発生時の対応を説明できる。
- 6) 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【6本の柱】

- (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
- (2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
- (3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
- (4) 医療人としての倫理 - 解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
- (5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
- (6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

S3 : 「至誠と愛」の実践学修 3		6本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・社会規範教育 (1)	○	○			○	○
実習	・自省と気づき (2) 「自己と他者の人間性を認める」 「読書レポート」	○	○				
	・医療コミュニケーション (1) (2)						
講義	(1) 医療者の認識、患者・家族の認識	○	○				
	(2) ナラティブ・ベイスト・メディスン	○	○				
WS	・女性医師の系譜（自校教育）		○			○	○
	・「利他」を考える	○	○		○	○	
WS	・チーム医療 (6) ~ (9)						
	(6) リハビリに携わる職種、部門を知る	○	○	○			
実習	(7) 検査に携わる職種、部門を知る	○	○	○			
	(8) 医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る	○	○	○			
行事	(9) 実習前ワークショップ	○	○	○			
行事	(9) 実習	○	○	○			
行事	・吉岡彌生記念講演			○		○	○
S4 : 「至誠と愛」の実践学修 4		6本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
WS	・医療コミュニケーション (3) (4)						
	(3) シネメディケーション	○	○				
実習	(3) 医療面接ロールプレイ	○	○				
	(4) 外来患者付き添い実習	○	○	○			
WS	・チーム医療 (9)						
	(9) 実習振り返りワークショップ	○	○	○			
行事	・解剖慰霊祭ワークショップ		○	○	○		
	・解剖慰霊祭		○				

セグメント 5 以降へ続く

「至誠と愛」の実践学修3

I 講義

石垣 景子

社会規範教育（1）

本学の建学の精神に謳われている「人格を陶冶（とうや）」することを目的として、①自校教育、②挨拶の重要性、③ボランティア精神、④掃除道、⑤医療人としての考え方「社会規範について」、⑥共感・信頼関係の形成法の6つの要素について学び、各自が行動目標を立て、実践する。

II 講義

西村 勝治

医療コミュニケーション（1）「医療者の認識、患者・家族の認識」

医学は科学的な思考法を基本に学修され、また研究もされる。しかし、医療で用いられる思考法には、科学的なそれも含まれるが、科学ではない考え方も多用される。医療における対話が失敗することの背景には、科学という思考法がどのようなものであるかを医師自身が知らないことが要因となっていることがしばしばある。このことは、すべての人間が（医師も含む）通常使用している科学ではない思考法に対する無理解につながり、正誤、善悪、好悪、合理性・不合理性などの判断ができず、対話に齟齬をきたすことになる。本講義では、科学的思考の特徴を理解することを通じて、人間の持つ科学ではない思考への理解に至ることを目標とする。

III 講義

諏訪 茂樹

医療コミュニケーション(2)「ナラティブ・ベイスト・メディスン」

ナラティブ（narrative）とは「物語」という意味である。患者はそれぞれに、病にまつわる物語を持っており、それを語ることによって病を意味づけることができる。そして、意味づけることができれば、病を受け入れて、向かい合うことができるようになる。

病気だけではなく、怪我や死なども、しばしば当事者にとっては不可解な出来事となる。「どうして?」「なぜ私が?」などと戸惑っている患者には、エビデンスを示して説明するだけでなく、患者の物語に耳を傾けることで主観的に意味づけてもらい、治療への動機づけをはかることも必要となる。

本講義では物語法の原理を理解するとともに、物語法の実際にも触れることで、必要に応じて実践できる知識と技術を身につけることを目指す。

IV 講義

長坂 安子

女性医師の系譜（自校教育）

わが国は、世界でも最も早くから女性医師が活躍した国の一つです。19世紀は、女性の世紀と言われるほど、世界的規模で女性の社会進出が活発になった時代ですが、その中で最も目覚ましい発展を遂げたのは、医療への女性の参画です。何が彼女たちを医療へと駆り立てたのか、彼女たちが目指したものは何なのかを、この講義を通して考えてみたいと思います。そして21世紀である現在、我が国はOECD加盟国35カ国中女性医師の割合は最も低く、また今後増加する速度も低いと予測されています。女性だけで医師になる学びをするものとして、女性医師の系譜を受け継ぎ、どうしたら次世代につなげていけるのかについてもこの授業を通じて考えてみたいと思います。

V 講義

西井 明子

「利他」について考える

利他とは、もともとは仏教の言葉である。他者に利を与えることは、贈与という考えと切り離すことができない。利他には見返りはあるのか、利他は共感の結果なのか？利他の考え方は時代とともに変化してき

た。そして今、地球温暖化、COVID-19パンデミックという重大な危機を迎え、オンラインでの地球規模の人と人とのつながりが発達し、この危機を乗り越えるために何が必要か、その意識改革が求められている。この講義では日常の何気ない私たちの行動の影響や、行動の背景にある意識に注目し、「利他」について共に考え、討論する。

大項目	中項目	小項目
I 社会規範教育(1)		1) 自校教育 2) 挨拶の重要性 3) ボランティア精神 4) 掃除道 5) 医療人としての考え方「社会規範について」 6) 共感・信頼関係の形成法
II 医療コミュニケーション (1)「医療者の認識、患者・家族の認識」	1. 思想史の概略 2. 2種類の思考法 3. 人の考え方の理解 4. 医療への応用	1) 科学的思考の登場 1) 科学的思考の特徴 2) 「非」科学的思考の特徴 3) 正誤と善悪・好悪 1) 共感と感情移入
III 医療コミュニケーション (2) ナラティブ・ベイス ト・メディスン	1. 物語法の原理 2. 物語法の実際	1) 言葉と現実 2) 病気と疾病 3) 語りと意味づけ 4) 実存的健康 1) 支配的物語と新しい物語 2) 過去からの物語 3) 未来への物語 4) エビデンスとの使い分け
IV 女性医師の系譜	1. 女性の社会進出 2. 女性医師の役割	1) 我が国で古代から続く女性への医学教育 2) 開拓者たちの努力の暁 1) 現在の日本・女性医師の状況 2) 吉岡彌生の教え
V 「利他」を考える	1. リベラルアーツ 2. 理系と文系 3. 異分野の融合	1) 合理的利他主義 2) 効果的利他主義 3) 贈与とは 4) 利他の「他」とは？ 5) 利他の「可能性」

VI 講義・WS、実習

辻村 貴子

チーム医療 (6) : リハビリに携わる職種、部門を知る (リハビリテーション部) 古江俊一

チーム医療 (7) : 検査に携わる職種、部門を知る (中央検査部) 三浦ひとみ

チーム医療 (8) : 医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る (医療連携、入退院支援部)

縄島正之、大塚祐輔

チーム医療 (9) : 実習前ワークショップ、実習 (夏季休暇中)

辻村 貴子、浦瀬 香子

主 旨

医の倫理綱領 (日本医師会) では「医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。」としている。そして多職種との連携によるチーム医療に関して「医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。」としている。そこで、医学を学ぶ者として、医療に携わる多職種の存在を知った上で、多職種によるチーム医療の実践を知り、医療における協働と連帯を学ぶ。

目 的

将来医師になる者として、病院で働く多様な職種との実習を通して以下のことを学ぶ。

- 1) 医療に携わる多職種の方々との連携や協力があって、医療が成り立っていることを学ぶ。
- 2) 医療に携わる多職種の方々との協力した活動を通して、社会における協調と連帯のあり方を学ぶ。
- 3) 対人援助の基本的な考え方と方法を身につける。
- 4) 全ての人々と協働できる喜びを実感する。
- 5) どのような援助が必要とされているか、自分にどのような援助ができるかを考える。
- 6) 医学生としての社会的立場・役割について考え、社会における奉仕と貢献の重要性を理解する。

方 法

- 1) 講義において、医師の社会における奉仕と貢献の意味と意義を理解する。
- 2) 講義において、医療に携わる多職種の職務および医師との連携について理解する。
- 3) 講義、実習、ワークショップを通して心構え、態度、服装、技術などの基本的必要事項を身につける。
- 4) 活動の場を選択し、病院での実習を行う。
- 5) 活動記録を作成する。
- 6) 自己の活動を振り返り、他者の経験や気づきを共有することで、社会一般に対する奉仕と貢献の意義をとらえなおす。
- 7) 今後どのような社会貢献ができるかを考える。

大 項 目	中 項 目	小 項 目
VI. チーム医療(6)～(9)	1. 医師の奉仕と貢献の基礎知識 2. 病院での実践 3. 振り返り 4. レポートの作成 5. 多職種の基礎知識	1) 医師の社会における奉仕と貢献の意義の理解 2) 守るべきルールの習得 1) 自主的、主体的に活動する姿勢 2) 周囲との連带的、協調的活動 3) 必要とされている援助の発見 4) 援助をするための技術の習得 1) 自己の活動の振り返り 2) 他者との経験・気づきの共有 1) 様式にそった作成 2) 実習に対する自己評価 1) 医療に関わる多職種の意義と理解 2) 医師との連携、協調の理解

VII 講義、実習

自省と気づき (2) 「自己と他者の人間性を認める」 (夏休み読書レポート)

辻村 貴子

主 旨

読書をとおして、「至誠と愛」の実践学修の目指す広い視野・豊かな人間性および読解力・表現力を培う機会とする。

目 的

主旨にそった本を選び本の言おうとするところを正確に把握したうえで、読書によって喚起された自分の気づきが他者に伝わるように表現することを学ぶ。

方 法

- 1) 実習要項をとおして、本実習の意味、意義、取り組み方を理解する。
- 2) 目的にそった本をまずは複数選び読む。
- 3) 選んだ本の中から、担当教員・友人と共有したいと思う本を1冊選ぶ。
- 4) 筆者の思い、登場人物の心の揺れ動きを意識しながら、かつ自分が何を具体的にどのように考えたかをレポートに執筆する。
- 5) 読書、レポートの執筆、担当教員からのフィードバックを通して得られた医学生としての気づき・心の動きを行動につなげるよう心がける。

大 項 目	中 項 目	小 項 目
VII. 自省と気づき(2) 「自己と他者の人間性を認める」	1. 人間性の涵養	<ol style="list-style-type: none"> 1) 視野の拡大 2) 立場や考え方の多様さへの理解・洞察 3) 人間に関する興味・関心 4) 人生における今の自分の立場・状況の理解 5) 生きていることの意味・ありがたさの理解 6) 自分の考え・気持ち・価値観・問題意識の理解
	2. 目的にそった本選び ・読書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本への興味・関心 2) 目的を理解した自覚的な情報収集・探索 3) 多様な本との出会い 4) かけがえのない1冊選び 5) 要点の把握 6) 気づき・心の動きの認識 7) 気づきによる行動変容のイメージ
	3. ブックレポートの執筆	<ol style="list-style-type: none"> 1) 様式にそった作成 2) 要点の伝達 3) 気づき・心の動き、期待する行動変容の伝達 4) 読み手のニーズ、関心、理解度への配慮 5) ブックレポートの完成・提出

科目名	国際コミュニケーション
科目責任者(所属)	長坂 安子

到達目標	<p>到達目標 将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために、また国際化する国内の医療現場での対応能力の育成をも視野に入れ、英語を用いて、臨床で患者および医療者とコミュニケーションができる能力を養成する。単に、英語を話すだけでなく、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観そして専門的言語についての理解を伴うコミュニケーション能力をも開発する。さらに、言語によるコミュニケーションに必要な、読む力・書く力を合わせて教育し、国際的に全人的医療を行える人材育成を目標とする。</p> <p>セグメント1、2 では、国際コミュニケーションの基礎的能力を養うことを目標とし、様々な分野の英語のリーディングおよびリスニングと、英語での自己表現のためのスピーキング、ライティングに重点をおいた。セグメント3 では、これらの基礎能力を基に、以下の大きな3 つの到達目標を掲げて医学英語の世界へと足を踏み入れる。</p> <p>1) 医学における英語の重要性を認識する。 2) 医学英語の語彙学修を継続的に行う。 3) 医学関連のトピックに関心を持ち、意欲的に英語で学修する。</p> <p>セグメント4 国際コミュニケーション到達目標及び概要 セグメント4 では、国際的医療活動を含め医学関連のトピックの英語を理解でき、やさしい医学論文の読解にも取り組み、さらに学んだことを自ら英語で発信できることを到達目標とする。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>セグメント3、セグメント4共通</p> <p>自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①</p> <p>簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。 I-4-C-(1-2)-①</p> <p>自己学修の結果を適切に伝えられる。 I-4-C-(1-2)-③</p> <p>他者を尊重して対話ができる。 II-1-D-(1-2)-②</p> <p>学修上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-①</p> <p>学修のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②</p> <p>自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-①</p> <p>真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②</p>
学修(教育)方法	講義
評価方法 (1)総括的評価の対象	セグメント3・セグメント4の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。演習を含む講義であるため、全講義への出席が必須。課題提出。語彙テストの点数。e-learningの学修度。グループ発表の取り組み。
評価方法 (2)評価項目	<p>セグメント3</p> <p>1) 医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。 LL-01-01-02 LL-02-01-01 CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03 CM-01-01-05,SO-06-01-03,SO-06-01-03</p> <p>2) e-learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。 LL-01-01-02,LL-01-01-02,LL-02-01-01 CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>3) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で習得することができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>4) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01</p> <p>5) 英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点を質問したり、自分の意見などを英語で表現できるようにする。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04 RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02, CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03</p> <p>セグメント4</p> <p>1) セグメント3 に引き続き、医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-</p>

		01-01-03,CM-01-01-05 SO-06-01-03																																													
	2) e-learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03																																													
	3) グループ発表のために積極的にとり組み、きちんとした発表ができるとともに、他のグループ発表を聴いて理解するとともに不明な点について質問ができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,RE-04-01-01,CM-01-01-05																																													
	4) 随時出される課題を期日迄にきちんと提出できる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01																																													
	5) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01																																													
評価方法 (3)評価基準	1) 授業への参加度(授業後の課題) 20% 2) 語彙テスト 30% 3) e-learning 30% 4) グループプレゼンテーション 20% 上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。																																														
伝達事項	1)授業への参加を重視。授業回数が少ないので、大学が公的に認めている欠席以外の欠席は減点。また、遅刻も減点対象となる。 2) 講義で出される提出課題は提出期限を守ることが重要。 3)語彙テストが、定期的実施されますが、これはe-learningの学修成果をみるためのもの。各回80%以上は正答できるよう学修を続けること。 4)本学に来訪する海外の医師による講演会(グラウンドラウンド等)やハンズオンセミナー(シミュレーション教育)を年間にわたり不定期におこなうことを予定しており、ポータルサイトから案内される。希望者の参加を推奨する(加対象外)。																																														
教科書・参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段: 出版社 下段: 出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『セグメント3』</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『最新医学英語用語演習』</td> <td>岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代</td> <td>南雲堂 2021</td> <td>9784523178699</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』</td> <td>日本医学英語教育学会</td> <td>メディカルビュー 2016</td> <td>9784758304481</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』</td> <td>日本医学英語教育学会</td> <td>メディカルビュー 2017</td> <td>9784758304498</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>『セグメント4』</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>『最新医学英語用語演習』</td> <td>岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代</td> <td>南雲堂 2021</td> <td>9784523178699</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』</td> <td>日本医学英語教育学会</td> <td>メディカルビュー 2016</td> <td>9784758304481</td> </tr> <tr> <td>8.</td> <td>『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』</td> <td>日本医学英語教育学会</td> <td>メディカルビュー 2017</td> <td>9784758304498</td> </tr> </tbody> </table>		No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN	1.	『セグメント3』				2.	『最新医学英語用語演習』	岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代	南雲堂 2021	9784523178699	3.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481	4.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498	5.	『セグメント4』				6.	『最新医学英語用語演習』	岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代	南雲堂 2021	9784523178699	7.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481	8.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498
No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN																																											
1.	『セグメント3』																																														
2.	『最新医学英語用語演習』	岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代	南雲堂 2021	9784523178699																																											
3.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481																																											
4.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498																																											
5.	『セグメント4』																																														
6.	『最新医学英語用語演習』	岡田 聚 / 名木田 恵理子 / 田中 伸代	南雲堂 2021	9784523178699																																											
7.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481																																											
8.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498																																											
関連リンク	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>The New England Journal of Medicine</td> <td>https://www.nejm.org</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>The Lancet</td> <td>https://www.thelancet.com</td> </tr> </tbody> </table>		1.	The New England Journal of Medicine	https://www.nejm.org	2.	The Lancet	https://www.thelancet.com																																							
1.	The New England Journal of Medicine	https://www.nejm.org																																													
2.	The Lancet	https://www.thelancet.com																																													
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK																																															

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/10(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	1.「国際コミュニケーション:医学英語への招待」 リソースパーソンによる経験談			
	担当者(所属)	石垣 景子 長坂 安子 佐藤 明可			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
2.	2024/04/17(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	2.医学英語のe-learningによる学び方および語彙学修			
	担当者(所属)	佐藤 明可			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤, A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
3.	2024/05/16(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	3.医学英語演習			
	担当者(所属)	佐藤 明可			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
4.	2024/05/24(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	4.Medical Paper入門(1)・検索方法			
	担当者(所属)	佐藤 明可 平 孝臣			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
5.	2024/07/04(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	5. 英語医学論文入門(夏の宿題に向けて)			
	担当者(所属)	佐藤 明可			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
6.	2024/09/06(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	1. 医学分野の英語レクチャー			
	担当者(所属)	遠藤 美香 佐藤 明可			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
7.	2024/09/20(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	2. Medical Paper 入門(2)			
	担当者(所属)	遠藤 美香 佐藤 明可 坂元 晴香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
8.	2024/10/11(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	3. 英語医学論文のプレゼンテーション準備			
	担当者(所属)	遠藤 美香 佐藤 明可			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②,G-4-4)⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)	3		
9.	2024/11/01(金)	2時限	講義	講義室 303
	タイトル	4. 英語医学論文のミニプレゼンテーション		
	担当者(所属)	遠藤 美香 佐藤 明可		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②,G-4-4)⑤		
	講義資料番号/連番(LMS)	4		
10.	2024/11/15(金)	1時限	講義	講義室 303
	タイトル	5. 英語医学論文のミニプレゼンテーション		
	担当者(所属)	遠藤 美香 佐藤 明可		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,B-4-1)⑭,C-5-7)⑥⑦⑧		
	講義資料番号/連番(LMS)	5		

[国際コミュニケーション]

大項目	中項目	小項目
I. 医学における英語の重要性の認識	1. 医学を学ぶ上で、どのように英語が必要かを知る	1) 先輩の医師の方々から、経験談を交えた講義を聴く。 2) 自分なりにこれからどのように医学英語を学び続けるかを考える。
II. 医学英語の語彙学修	1. 医学英語の語彙形成について学ぶ	1) 医学英語の語彙の基本構造（語根、接頭辞、接尾辞、連結系など）について学修する。 2) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で学修する。
	2. e-learning を通して、自己学修を習慣化	1) 年間を通して医学英語専門のe-learningを継続的に行うことで、医学英語の語彙力を養う。 2) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行う。
III. 英語で書かれた医療関連記事から医学論文へ	1. 医学関連の話題に使用されている英語表現の学修	1) 医療関連記事を読み、医学英語の表現を学修する。
	2. 英語の医学論文入門	2) 英語の医学論文の種類・検索方法を知る。
IV. 既習医学分野の英語による講義	1. 英語を母語とする医師による英語のレクチャーを聴く	1) 英語を母語とする医師によるレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点の質問、自分の意見などを英語で表現できるようにする。

科目名	健康管理
科目責任者(所属)	横田 仁子

到達目標	<p>医師という職業選択をすでにすすめている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。</p> <p>また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。</p>																		
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>人体の正常な構造と機能を説明できる。</p> <p>人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。</p> <p>社会的規範を守った生活ができる。</p> <p>学則を守った学生生活ができる。</p> <p>学習のための時間を適切に自己管理できる</p> <p>学生として適切に振る舞いで行動できる。</p>			<p>I-1-A-(1-2)-①</p> <p>I-1-A-(1-2)-②</p> <p>I-2-A-(1-2)-①</p> <p>I-6-A-(1-2)-①</p> <p>I-6-A-(1-2)-②</p> <p>II-2-C-(1-2)-②</p> <p>II-5-B-(1-2)-①</p>															
学修(教育)方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診																		
評価方法(1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない																		
評価方法(2)評価項目	<p>医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる。</p> <p>栄養、食育、食生活を説明できる。</p> <p>身体活動、運動を説明できる。</p> <p>休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防)を説明できる。</p> <p>人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。</p> <p>ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。</p> <p>ストレス対処法を概説できる。</p>			<p>A-6-3)-①</p> <p>B-1-5)-②</p> <p>B-1-5)-③</p> <p>B-1-5)-④</p> <p>C-5-4)-②</p> <p>C-5-4)-③</p> <p>C-5-4)-④</p>															
評価方法(3)評価基準	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する																		
伝達事項	健康管理行事に理由無く欠席しないこと																		
教科書・参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段:出版社 下段:出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『健康行動と健康教育』</td> <td>【訳】曾根智史ら</td> <td>医学書院 2006年</td> <td>978-4-260-00350-6</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『近代日本の女性専門職教育』</td> <td>渡邊洋子</td> <td>明石書店 2014年</td> <td>978-4-7503-4097-5</td> </tr> </tbody> </table>				No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN	1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曾根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6	2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN															
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曾根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6															
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5															

	3.	『吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編集委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3	
	4.	『最新 行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0	
	5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7	
	6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3	
	7.	『最新 女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246	
	8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太郎・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9	
	9.	『コンサイスガイド 女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9	
	10.	『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4	
	11.	『格差社会と健康 社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6	
	関連リンク	1.	日本環境感染学会 医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版		http://www.kankyokansen.org	
		2.	文部科学省 学校において予防すべき感染症の概説		http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko	
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK						

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/04/08(月)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	学生生活のストレスとその対処法			
	担当者(所属)	横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-9-1)②, A-9-1)③, A-9-1)④, C-5-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			

〔健康管理〕

科目責任者:横田 仁子(学生健康管理室)

大項目	中項目	小項目
I. 身体の健康管理	1. 生活リズムと食生活	1) 体内時計と光と食 2) 月経周期と体重・食欲の変化 3) ストレスと食行動 4) 摂食障害 5) 日常生活の工夫 6) 食事の摂り方
	2. 感染症対策	1) 健診スケジュールとワクチン接種 2) 出席停止となる感染症 3) 小児4種感染症 4) インフルエンザ 5) ノロウイルス 6) 新型コロナウイルス感染症 7) 子宮頸がん 8) 医学生としての感染対策への責任
	3. 定期健康診断	1) 学校保健法と定期健康診断 2) 健診の項目 3) 結果の判定 4) 事後措置 5) 健康診断書の利用方法
II. 大学生のメンタルヘルス	1. ストレスとストレス対処法	1) ストレスとは 2) ストレスと心身の反応 3) 医学部生活でのストレス 4) ストレスコーピング 5) リラクゼーション 6) マインドフルネス
	2. 大学生時代に注意したい精神健康障害	1) 適応障害 2) うつ病 3) 外傷後ストレス障害 4) 医学部カリキュラムと心の危機 a. 解剖実習 b. CBT,OSCE c. 臨床実習

<p>Ⅲ. 女性の健康</p>	<p>3. リーダー・メンバーとして</p> <p>1. ライフステージと女性の健康</p> <p>2. 女性の健康の心理的要因</p> <p>3. 女性の健康と社会的要因</p>	<p>d. マッチング e. 国家試験</p> <p>1) チームとグループの違い 2) リーダーとは 3) リーダーシップ 4) メンバーの役割 5) クラブ幹部の役割</p> <p>1) 思春期から性成熟期への体の変化 2) 若年女性の健康問題 a. やせ b. 貧血 c. 心身症 d. 月経関連症状</p> <p>1) ストレスと心身の反応 2) 自律神経症状 3) バイオレンスと心身への影響 4) 対等な関係とは</p> <p>1) 女性の健康に関する時代背景 a. アルマ・アタ宣言 b. 男女雇用機会均等法 c. 国連女性会議 d. 男女共同参画基本法 e. 女性活躍推進法</p> <p>2) 健康決定要因の枠組み 3) 持続的開発目標(SDGs) 4) ライフサイクルにおける性差別と健康 5) 女性医師のキャリア</p>
-----------------	---	---

Ⅲ 試験科目表・試験日程表

試験科目・日程表

試験科目

- (基幹科目)
 - 治療の基礎
 - 病因と病態
 - 人体発生・比較発生
 - 人体全体構造
 - 生体画像の基本
- (学年縦断科目)
 - 国際コミュニケーション
 - 医学の学び方・考え方
 - 「至誠と愛」の実践学修
- 選択科目

(試験日程)

年月日	曜	時間	試験科目	試験場所
2024/7/12	金	13:00～14:30	治療の基礎	302,303
2024/7/16	火	13:00～14:30	病因と病態	302,303
2024/7/17	水	13:00～14:30	人体発生・比較発生	302,303
2024/7/18	木	13:00～14:30	人体全体構造	302,303
2024/7/19	金	13:10～14:30	生体画像の基本	302,303

(追・再試験日程)

年月日	曜	時間	試験科目	試験場所
2024/8/19	月	13:00～14:30	治療の基礎	203
2024/8/20	火	13:00～14:30	病因と病態	203
2024/8/21	水	13:00～14:30	人体発生・比較発生	203
2024/8/22	木	13:00～14:30	人体全体構造	203
2024/8/23	金	13:10～14:30	生体画像の基本	203

科目名	テュートリアル・TBL_S3
科目責任者(所属)	-

到達目標	リンク集または「学修の手引き」参照
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	-
学修(教育)方法	テュートリアル
評価方法 (1)総括的評価の対象	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (3)評価基準	リンク集または「学修の手引き」参照
伝達事項	リンク集または「学修の手引き」参照
教科書・参考図書	
関連リンク	
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK	

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2024/06/06(木)	2時限	テュートリアル	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	オリエンテーション			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
2.	2024/06/13(木)	3時限	テュートリアル	-	12:00-13:40
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				

3.	2024/06/13(木)	4時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2024/06/13(木)	5時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2024/06/13(木)	6時限	テュートリアル	—	16:35-17:45
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2024/06/20(木)	3時限	テュートリアル	—	12:00-13:40
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2024/06/20(木)	4時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2024/06/20(木)	5時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2024/06/20(木)	6時限	テュートリアル	—	16:35-17:45

	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2024/07/04(木)	3時限	テュートリアル	—	12:00-13:40
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2024/07/04(木)	4時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2024/07/04(木)	5時限	テュートリアル	PC室 1	14:00-15:40
	タイトル	課題1			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 中村 佐和子 菊田 幸子 有末 伸子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2024/07/04(木)	6時限	テュートリアル	—	16:35-17:45
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13

Problem based learning (PBL) テュートリアルと Team-based learning (TBL) について

PBL テュートリアル (テュートリアル) と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として 1990 年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として 2008 年度から導入した。

1. PBL テュートリアル (テュートリアル) とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

- 1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修）。
- 2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
- 3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
- 4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

2. Team-based learning (TBL) と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008 年度より 4 年生後期（セグメント 8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わって TBL を導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患

者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020 年度より 2, 3, 4 年生（セグメント 3-7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020 年度から開始された 4 年生後期（セグメント 8）の「入門型臨床実習」、5 年生（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村 真一（消化器内科学）

※2022 年度は新型コロナウイルス感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBL の特徴

1. 予習（事前学修）を前提としている。
2. 個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3. 1 人もしくは 2 人の教員がすべてのチームを管理。
4. 教員は司会者および専門家として機能する。
5. 学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S5 では、診療上の問題発見・解決の中で、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常について学修する。さらに医学的知識のみならず、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生についても学修する。これまで「診療問題解決型テュートリアル」として行われてきた内容を TBL という学修法で学ぶ。

TBL の概要

事前学修に始まる以下の 3 つのプロセスで構成される。

I. 予習

事前に学修すべき項目が提示される。

項目に沿って個々に事前学修する。

II. 基本ユニット

個人テスト

- ・ 学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）

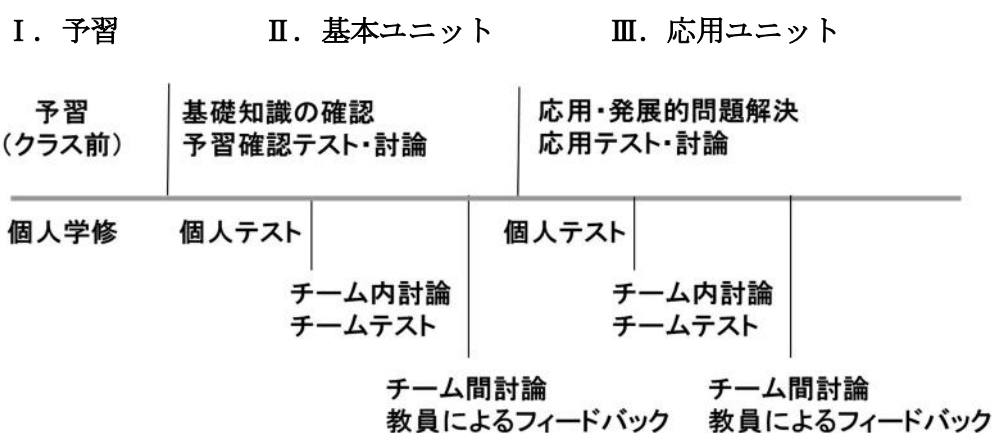
チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成
- チーム間討論とフィードバック
- ・ チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論
 - ・ 専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

Ⅲ. 応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決
 応用テストにおいてⅡ.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBLの進行（1回の授業）



具体的な進め方

進行の仕方

以下のⅠからⅢのプロセスを1回の授業として、2~4回繰り返し1つの課題を学ぶ。

Ⅰ. 予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

Ⅱ. 基本ユニット

1. 個人テスト

- ・ 事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。

2. チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。
- ・ 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。

3. チーム間討論

- ・ 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
- ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
- ・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。

4. 専門家によるフィードバック

- ・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。

III. 応用ユニット

- ・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。

IV. アセスメント

- ・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。

V. 評価

- ・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は5点満点で、課題毎に評価が行われる。
- ・ 講義開始時のレスポンスアナライザー端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。
- ・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が2点未満の場合は進級できない。
- ・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価を行う場合もある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

1. TBLは授業であるので飲食は行わない。
2. 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。
3. 個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる）。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が寄せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

S3TBL 課題一覧表

年月日	曜	時限 (実際のTBLの時間)	収録教室	課題 番号	課題内容	備考
2024/6/6	木	10:25-11:35	PC室 1	1	オリエンテーション	
2024/6/13	木	14:00-15:40	PC室 1			
2024/6/20	木	14:00-15:40	PC室 1			
2024/7/4	木	14:00-15:40	PC室 1			

【担当教室】 解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）

リソースパースナー一覧表

所 属	職 名	氏 名	連絡電話番号	メールアドレス
統合教育学修センター 基礎科学 (生物学)	講 師	石 井 泰 雄	31543	ishii.yasuo@twmu.ac.jp
	助 教	浦 瀬 香 子	"	urase.koko@twmu.ac.jp
統合教育学修センター 基礎科学 (化学)	講 師	中 村 裕 子	31542	nakamura.yuko@twmu.ac.jp
	講 師	越 野 一 朗	31542	koshino.ichiro@twmu.ac.jp
統合教育学修センター 基礎科学 (物理学)	准 教 授	辻 野 賢 治	31541	tsujino@twmu.ac.jp
	准 講 師	山 口 俊 夫	"	yamaguchi.toshio@twmu.ac.jp
統合教育学修センター 基礎教育学 (英語)	講 師	佐 藤 明 可	31546	sato.tomoka@twmu.ac.jp
統合教育学修センター 基礎教育学 (日本語)	講 師	辻 村 貴 子	31547	tsujimura@twmu.ac.jp
解剖学(神経分子形態学分野)	教 授	藤 枝 弘 樹	31515	hfujieda@twmu.ac.jp
	准 教 授	本 多 祥 子	31516	honday@twmu.ac.jp
	助 教	早 川 亨	"	thaya@twmu.ac.jp
解剖学 (顕微解剖学・形態形成学分野)	教 授	石 津 綾 子	31521	ishizu.ayako@twmu.ac.jp
	講 師	横 溝 智 雅	31522	yokomizo.tomomasa@twmu.ac.jp
	助 教	菊 田 幸 子	"	kikuta.sachiko@twmu.ac.jp
生理学(神経生理学分野)	教 授	宮 田 麻 理 子	31441	mmyata@twmu.ac.jp
	准 教 授	中 山 寿 子	31442	nakayama.hisako@twmu.ac.jp
	講 師	植 田 禎 史	"	yueta@twmu.ac.jp
生化学(生化学分野)	教 授	中 村 史 雄	31525	nakamura.fumio@twmu.ac.jp
	講 師	田 中 正 太 郎	"	tanaka.shotaro@twmu.ac.jp
	助 教	新 敷 信 人	"	arashiki.nobuto@twmu.ac.jp
	助 教	瀧 澤 光 太 郎	"	takizawa.kotaro@twmu.ac.jp
薬理学(薬理学分野)	教 授	松 浦 勝 久	31531	matsuura.katsuhisa@twmu.ac.jp
	准 教 授	出 口 敦 子	31533	adeguchi@twmu.ac.jp
	助 教	瀧 田 守 親	"	mtakita@twmu.ac.jp
	助 教	梶 健 二 朗	31532	kaji.kenjiro@twmu.ac.jp
病理学 (人体病理学・病態神経科学分野)	教 授	倉 田 厚	26456	kurata.atushi@twmu.ac.jp
	准 教 授	山 本 智 子	29612	yamamoto.tomoko@twmu.ac.jp
	准 教 授	増 井 憲 太	26420	masui-ken@twmu.ac.jp
病理診断学(病理診断学分野)	教 授	長 嶋 洋 治	29611	nagashima.yoji@twmu.ac.jp
	准 教 授	種 田 積 子	31422	taneda.sekiko@twmu.ac.jp
	講 師	古 澤 佐 恵 子	"	yoshizawa.saeko@twmu.ac.jp
	助 教	井 藤 奈 央 子	"	ito.naoko@twmu.ac.jp
	助 教	関 敦 子	"	seki.atsuko@twmu.ac.jp

所 属	職 名	氏 名	連絡電話番号	メールアドレス
放射線医学(画像診断学・核医学分野)	教 授	坂 井 修 二	37526	sakai.shuji@twmu.ac.jp
小児科学(小児科学分野)	准 教 授	石 垣 景 子	28060	ishigaki.keiko@twmu.ac.jp
麻酔科学分野	教 授	長 坂 安 子	29465	nagasaka.yasuko@twmu.ac.jp
ゲノム診療科	教 授	山 本 俊 至	34236	yamamoto.toshiyuki@twmu.ac.jp
	准 教 授	松 尾 真 理	〃	matsuo.mari@twmu.ac.jp
	講 師	加 藤 環	〃	kato.tamaki@twmu.ac.jp
内科学 (膠原病リウマチ内科学分野)	臨 床 教 授	川 口 鎮 司	29818	y-kawa@twmu.ac.jp
	准 教 授	田 中 榮 一	29808	tanaka.eiichi@twmu.ac.jp
	准 教 授	宮 前 多 佳 子	29806	tmiyamae@twmu.ac.jp
	講 師	勝 又 康 弘	29821	katsumata@twmu.ac.jp
	講 師	岡 本 祐 子	29822	okamoto.yuko@twmu.ac.jp
	特 任 講 師	樋 口 智 明	29845	hihguchi.tomoaki@twmu.ac.jp
精神医学(精神医学分野)	教 授	西 村 勝 治	33201	nishimura.katsuji@twmu.ac.jp
学生健康管理室	准 教 授	横 田 仁 子	41121	yokota.jinko@twmu.ac.jp

V 第2学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

第2学年教育委員会

委員長	藤 枝 弘 樹	教 授	(解剖学(神経分子形態学分野)) ※主担当 S3
副委員長	多 賀 谷 悦 子	教 授	(内科学(呼吸器内科学分野)) ※主担当 S4
委 員	坂 井 修 二	教 授	(放射線医学(画像診断学・核医学分野))
〃	次 期	教 授	(薬理学(薬理学分野))
〃	石 津 綾 子	教 授	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野))
〃	倉 田 厚	教 授	(病理学(人体病理学・病態神経科学分野))
〃	山 口 淳 一	教 授	(内科学(循環器内科学分野))
〃	新 浪 博	教 授	(外科学(心臓血管外科学分野))
〃	星 野 純 一	教 授	(内科学(腎臓内科学分野))
〃	神 崎 正 人	教 授	(外科学(呼吸器外科学分野))
〃	高 木 敏 男	教 授	(泌尿器科学(泌尿器科学分野))
〃	田 畑 務	教 授	(産婦人科学(産婦人科学分野))
〃	水 主 川 純	教 授	(母子総合医療センター)

各担当委員

テュートリアル・TBL 委員会

委員長	中 村 真 一	教 授	(内科学(消化器内科学分野))
副委員長	飯 嶋 睦	教 授	(内科学(脳神経内科学分野))
〃	山 村 幸 江	准教授	(耳鼻咽喉科学(耳鼻咽喉科学分野))
〃	越 野 一 朗	講 師	(統合教育学修センター基礎科学)
セグメント3 委員	早 川 亨	助 教	(解剖学(神経分子形態学分野))(課題調整)
〃	坂 井 鈴 子	助 教	(放射線医学(画像診断学・核医学分野))
〃	加 藤 陽一郎	准講師	(病理学(人体病理学・病態神経科学分野))
セグメント4 委員	桂 秀 樹	教 授	(内科学(呼吸器内科学分野))
〃	水 主 川 純	教 授	(母子総合医療センター)
〃	中 林 章	准教授	(母子総合医療センター)
〃	唐 澤 一 徳	講 師	(内科学(腎臓内科学分野))
〃	菊 池 規 子	講 師	(内科学(循環器内科学分野))

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委員長	西 村 勝 治	教 授	(精神医学(精神医学分野))
副委員長	柳 澤 直 子	教 授	(微生物学免疫学(微生物学免疫学分野))
〃	石 垣 景 子	教 授	(小児科学/統合教育学修センター)
〃	横 田 仁 子	講 師	(学生健康管理室)
セグメント3 委員	辻 村 貴 子	講 師	(統合教育学修センター基礎教育学)
〃	浦 瀬 香 子	助 教	(統合教育学修センター基礎科学)
セグメント4 委員	小 林 浩 子	講 師	(内科学(糖尿病・代謝内科学分野))
〃	野 原 理 子	教 授	(衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野))

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	正 宗 賢	教 授	(先端生命医科学研究所)
-----	-------	-----	--------------

基本的・医学的表現技術教育委員会

委員長	木 林 和 彦	教 授	(法医学(法医学分野))
副委員長	辻 村 貴 子	講 師	(統合教育学修センター基礎教育学)

国際コミュニケーション委員会

委員長	長 坂 安 子	教 授	(麻酔科学(麻酔科学分野))
副委員長	佐 藤 明 可	講 師	(統合教育学修センター基礎教育学)

学生委員

石 津 綾 子	教 授	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野))
西 井 明 子	教 授	(統合教育学修センター基礎教育学)
西 村 勝 治	教 授	(精神医学(精神医学分野))

VI 講義・実習時間割表

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI						
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 1 週	4 / 8 月	(講義) オリエンテーション S3 オリエンテーション 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 人体全体構造-1 運動器系1(総論) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 人体全体構造-2 運動器系2(体幹骨) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 健康管理について 学生生活のストレスとその 対処法 303講義室 (保健管理センター学生健康 管理室 横田)	(講義) オリエンテーション 学生生活の支援 303講義室 (病理学(人体病理学) 倉田)						
	4 / 9 火	(講義) 人体発生・比較発生-1 生殖器官/減数分裂/精 子形成 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 石津)	(講義) 人体全体構造-3 運動器系3(上肢骨) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 人体全体構造-4 運動器系4(下肢骨) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 治療の基礎-1 生体と薬物概論 303講義室 (薬理学 松浦)	(講義) 治療の基礎-2 薬物の作用機序 303講義室 (薬理学 松浦)						
	4 / 10 水	(講義) 国際コミュニケーション-1 「国際コミュニケーション: 医学英語への招待」リ ソースバージョンによる経験 談 303講義室 (麻酔科 長坂 (小児科 石垣) (統合教育学修センター基礎 教育学 佐藤)	(講義) 人体全体構造-5 神経系1(脳神経) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 人体全体構造-6 神経系2(脳神経) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 治療の基礎-3 体内動態と薬効(1) 303講義室 (薬理学 梶)	(講義) 治療の基礎-4 体内動態と薬効(2) 303講義室 (薬理学 梶)						
	4 / 11 木	(講義) 生体画像の基本-1 オリエンテーション、生体 画像の物理① 303講義室 (画像診断学・核医学 坂井)(統合教育学修セン ター基礎科学 辻野)	(講義) 人体全体構造-7 運動器系5(頭蓋骨) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 人体全体構造-8 運動器系6(頭蓋骨) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(講義) 治療の基礎-5 薬物の作用機序(1) 中枢神経作用薬 303講義室 (薬理学 出口)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-1 社会規範教育(1) 303講義室 (小児科学 石垣)						
	4 / 12 金	(講義) 人体発生・比較発生-2 卵子形成/卵胞成熟～排 卵とその調整 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 石津)	(講義) 人体全体構造-9 運動器系7(筋) 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-1 骨学1 解剖実習室 (解剖学 藤枝)								
	4 / 13 土											

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表(303講義室)

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 2 週	4 /	(講義) 治療の基礎-6	(講義) 人体全体構造-10	(講義) 人体全体構造-10	(実習) 人体全体構造-2							
	15	薬物の作用機序(2) オートコイド①	運動器系8(筋)	運動器系8(筋)	骨学2							
	月	303講義室	303講義室	303講義室	解剖実習室							
		(薬理学 出口)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)							
4 /	(講義) 治療の基礎-7	(講義) 人体全体構造-11	(講義) 人体全体構造-11	(実習) 人体全体構造-3								
16	薬物の作用機序(4) 自律神経作用薬①	神経系3(脊髄神経)	神経系3(脊髄神経)	骨学3								
火	303講義室	303講義室	303講義室	解剖実習室								
	(薬理学 出口)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)								
4 /	(講義) 国際コミュニケーション-2	(講義) 人体全体構造-12	(講義) 人体全体構造-12	(講義) 人体全体構造-13	(講義) 人体全体構造-14	(講義) 人体全体構造-14	(講義) 人体全体構造-14	(講義) 人体全体構造-14	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-2			
17	医学英語のe-learningによる学び方および語彙学習	神経系4(脊髄神経)	神経系4(脊髄神経)	循環器系1(心臓)	循環器系2(心臓)	循環器系2(心臓)	循環器系2(心臓)	循環器系2(心臓)	「至誠と愛」の実践学修-2			
水	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室			
	(統合教育研修センター基礎教育学 佐藤)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(統合教育学修センター 辻村)			
4 /	(講義) 生体画像の基本-2	(講義) 人体全体構造-15	(講義) 人体全体構造-15	(実習) 治療の基礎-1								
18	生体画像の物理②	循環器系3(動脈)	循環器系3(動脈)	中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検								
木	303講義室	303講義室	303講義室	大実習室2,3								
	(統合教育学修センター基礎科学 辻野)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(薬理学 松浦、出口、瀧田、梶)								
4 /	(講義) 人体発生・比較発生-3	(講義) 人体全体構造-16	(講義) 人体全体構造-16	(実習) 人体全体構造-4								
19	形態形成の分子機構(1)	循環器系4(静脈・リンパ)	循環器系4(静脈・リンパ)	骨学4								
金	303講義室	303講義室	303講義室	解剖実習室								
	(顕微解剖学・形態形成学 石津)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)	(解剖学 藤枝)								
4 /												
15												
土												

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 3 週	4 / 22 月	(講義) 人体発生・比較発生-4 受精／着床 303講義室 (統合教育学修センター基礎 科学 浦瀬)	(講義) 人体発生・比較発生-5 二層性胚盤／三層性胚 盤／胚葉形成／体の基 本形成立(1) 303講義室 (統合教育学修センター基礎 科学 浦瀬)	(講義) 治療の基礎-8 薬物の作用機序(5) 自律神経作用薬② 303講義室 (薬理学 出口)	(講義) 治療の基礎-9 薬物の作用機序(3) オータコイド② 303講義室 (薬理学 瀧田)	(講義) 人体全体構造-17 オリエンテーション しらぎくの集い 303講義室 (解剖学)							
	4 / 23 火		(実習) 人体全体構造-5 中間試験 303講義室 (解剖学 藤枝、本多、早川、 齋藤、蔭池)	(実習) 治療の基礎-2 中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 大実習室2,3 (薬理学 松浦、出口、瀧田、梶)									
	4 / 24 水	(講義) 人体発生・比較発生-6 体の基本形成立-(2) 303講義室 (統合教育学修センター基礎 科学 浦瀬)	(講義) 人体発生・比較発生-7 胚膜、胎盤、臍帯 303講義室 (統合教育学修センター基礎 科学 浦瀬)	(講義) 病因と病態-1 病理学序論、病因論 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-3 医療コミュニケーション(1)「医療 者の認識、患者・家族の認識」 303講義室 (精神医学 西村)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55						
	4 / 25 木	(講義) 生体画像の基本-3 生体画像の物理③ 303講義室 (統合教育学修センター基礎 科学 辻野)	(実習) 治療の基礎-3 中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 大実習室2,3 (薬理学 松浦、出口、瀧田、梶)										
	4 / 26 金	(講義) 病因と病態-2 細胞傷害・適応反応・ 細胞死(1) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 病因と病態-3 細胞傷害・適応反応・ 細胞死(2) 303講義室 (病理学 倉田)	(実習) 治療の基礎-4 中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 大実習室2,3 (薬理学 松浦、出口、瀧田、梶)									
	4 / 27 土		(行事) 献体登録者との懇談会「しらぎくの集い」 ⇒令和6年度中止 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)										

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第 4 週	4 ／ 29	昭和の日										
	月											
	4 ／ 30	休業										
	火											
	5 ／ 1	休業										
	水											
5 ／ 2	休業											
木												
5 ／ 3	憲法記念日											
金												
5 ／ 4	みどりの日											
土												

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第 5 週	5 / 6 月	振替休日										
	5 / 7 火	(講義) 治療の基礎-10 303講義室 (薬理学 瀧田)	(講義) 人体全体構造-18 頸部、胸腹部の皮下 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-6 頸部、胸腹部の皮下1 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)								
	5 / 8 水	(講義) 病因と病態-4 循環障害(1) 303講義室 (病理学 倉田)	(実習) 人体全体構造-7 頸部、胸腹部の皮下2 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)	(選択科目) 15:20～16:30		(選択科目) 16:45～17:55						
	5 / 9 木	(講義) 生体画像の基本-4 画像の成り立ち① 単純撮影、一般造影、血管造影 303講義室 (画像診断学・核医学 坂井)	(講義) 人体発生・比較発生-8 妊娠と母子相関、胎児循環 303講義室 (産婦人科 渡辺)	(実習) 治療の基礎-5 中枢神経・循環器・平滑筋作用薬、薬物動態、薬害DVD、二重盲検 大実習室2,3、303講義室、テュートリアル室17-19 (薬理学 松浦、出口、瀧田、梶)								
	5 / 10 金	(講義) 人体発生・比較発生-9 形態形成の分子機構(2) 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 望月)	(講義) 人体全体構造-19 頸部の中層、胸壁と腋窩 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-8 頸部の中層、胸壁と腋窩 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)								
	5 / 11 土											

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第 6 週	5 / 13 月	(講義) 病因と病態-5 循環障害(2) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-20 鎖骨下動静脈、開胸 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-9 鎖骨下動静脈、開胸 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)		
	5 / 14 火	(講義) 病因と病態-6 循環障害(3) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-21 背部の皮下、浅背筋 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-10 背部の皮下、浅背筋 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)		
	5 / 15 水	(講義) 治療の基礎-11 薬物の作用機序(7) 毒物の応用 303講義室 (薬理学 松浦)	(講義) 治療の基礎-12 麻酔への応用 303講義室 (麻酔科学 長坂)	(実習) 病因と病態-1 循環障害 大実習室3 (病理学 倉田、増井、山本、加藤、岡村)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	5 / 16 木	(講義) 生体画像の基本-5 画像の成り立ち② CT、超音波 303講義室 (画像診断学・核医学 坂井)	(講義) 人体発生・比較発生-10 外胚葉の分化とその異常 (1):体表外胚葉・神経外胚葉 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 石津)	(講義) 人体発生・比較発生-11 外胚葉の分化とその異常 (2):神経外胚葉 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 石津)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-4 医療コミュニケーション(2) 「ナラティブ・ベイスト・メ デイスン」 303講義室 (統合教育学修センター 諏訪)	(講義) 国際コミュニケーション-3 医学英語演習 303講義室 (統合教育研修センター基礎 教育学 佐藤)
	5 / 17 金	(講義) 生体画像の基本-6 画像の成り立ち③ MRI 303講義室 (画像診断学・核医学 坂井)	(講義) 人体全体構造-22 上腕伸側と肩甲骨背面、 殿部と大腿後面 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-11 上腕伸側と肩甲骨背面、 殿部と大腿後面 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)		
	5 / 18 土					

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 7 週	5 / 20 月	(講義) 治療の基礎-13 ドラッグデリバリーシステム	(講義) 人体全体構造-23 前腕伸側と手背、下腿後面と足底	(実習) 人体全体構造-12 前腕伸側と手背、下腿後面と足底	(先端生命医学研究所 中山) (解剖学 藤枝) (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)								
	火	(講義) 治療の基礎-14 高血圧への応用	(講義) 人体全体構造-24 上腕屈側、大腿前面	(実習) 人体全体構造-13 上腕屈側、大腿前面	(高血圧・内分泌内科 森本) (解剖学 蔦池) (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)								
	5 / 22 水	(講義) 人体発生・比較発生-12 中胚葉の分化とその異常(1):沿軸中胚葉	(講義) 人体発生・比較発生-13 中胚葉の分化とその異常(2):側板中胚葉	(行事) 「至誠と愛」の実践学修 吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定	(小児科学 石垣)(統合教育学修センター基礎科学 浦瀬) (統合教育学修センター基礎教育学 遠藤、辻村) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)								
	5 / 23 木	(講義) 人体発生・比較発生-14 鰓弓器官と分化とその異常(1)	(講義) 人体発生・比較発生-15 鰓弓器官と分化とその異常(2)	(講義) 治療の基礎-15 放射線の物理(1)	(講義) 治療の基礎-16 放射線の物理(2)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-5 女性医師の系譜(自校教育)	(統合教育学修センター基礎科学 石井) (統合教育学修センター基礎科学 石井) (統合教育学修センター基礎科学 辻野) (統合教育学修センター基礎科学 辻野) (麻醉科学 長坂)						
	5 / 24 金	(講義) 国際コミュニケーション-4 Medical Paper入門(1) ・検索方法	(講義) 人体全体構造-25 前腕屈側、下腿前面と足背	(実習) 人体全体構造-14 前腕屈側、下腿前面と足背	(脳神経外科学 平) (統合教育研修センター基礎教育学 佐藤) (解剖学 蔦池) (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)								
	5 / 25 土												

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第 8 週	5 / 27 月	(講義) 病因と病態-7 代謝障害(1) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-26 手掌、頭蓋内面 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-15 手掌、頭蓋内面 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)		
	5 / 28 火	(講義) 病因と病態-8 代謝障害(2) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-27 腕神経叢と腋窩動脈、腹壁 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-16 腕神経叢と腋窩動脈、腹壁 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)		
	5 / 29 水	(講義) 人体発生・比較発生-16 中胚葉の分化とその異常 (3):中間中胚葉(泌尿器系) 303講義室 (統合教育学修センター基礎科学 石井)	(講義) 人体発生・比較発生-17 中胚葉の分化とその異常 (4):中間中胚葉(生殖器官系) 303講義室 (統合教育学修センター基礎科学 石井)	(実習) 病因と病態-2 代謝障害 大実習室3 (病理学 倉田、増井、山本、加藤、岡村)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55
	5 / 30 木	(講義) 治療の基礎-17 薬物の作用機序(8) 分子標的薬 303講義室 (薬理学 梶)	(講義) 人体全体構造-28 縦隔と心膜、腹膜 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-17 縦隔と心膜、腹膜 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)		
	5 / 31 金	(講義) 生体画像の基本-7 画像解剖①骨/関節(肩、 上肢、骨盤、下肢) 303講義室 (画像診断学・核医学 坂井)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-6 チーム医療(6) 「リハビリに携わる職種、 部門を知る」 303講義室 (統合教育学修センター 辻村) (リハビリテーション部 古江)	(実習) 人体発生・比較発生 ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察 大実習室1,3 (統合教育学修センター基礎科学 石井、浦瀬) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作)		
	6 / 1 土					

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45	
第 9 週	6 / 3 月	(講義) 治療の基礎-18 303講義室 (放射線腫瘍学 藤田)	(講義) 人体全体構造-29 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-18 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)			
	6 / 4 火	(講義) 病因と病態-9 303講義室 (病理学 増井)	(講義) 病因と病態-10 303講義室 (病理学 倉田)	(実習) 人体発生・比較発生 ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察 大実習室1,3 (統合教育学修センター基礎科学 石井、浦瀬) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作)			
	6 / 5 水	(講義) 人体発生・比較発生-18 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 菊田)	(講義) 人体発生・比較発生-19 303講義室 (顕微解剖学・形態形成学 菊田)	(講義) 病因と病態-11 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 病因と病態-12 303講義室 (病理学 倉田)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	6 / 6 木	(講義) 生体画像の基本-8 303講義室 (画像診断学・核医学 森田)	(講義) テュートリアル・TBL PC室1 (顕微解剖学・形態形成学)	(実習) 人体発生・比較発生 ニワトリの発生(1)/胎児臓器標本観察 大実習室1,3 (統合教育学修センター基礎科学 石井、浦瀬) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作)			
	6 / 7 金	(講義) 病因と病態-13 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-30 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-19 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)			
	6 / 8 土						

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第10週	6/10月	(講義) 病因と病態-14 腫瘍(1) 303講義室 (病理学 倉田)	(講義) 人体全体構造-31 心臓の内部構造、胸腔の深部 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-20 心臓の内部構造、胸腔の深部 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)								
	6/11火	(講義) 病因と病態-15 腫瘍(2) 303講義室 (病理学 増井)	(講義) 病因と病態-16 腫瘍(3) 303講義室 (病理学 増井)	(実習) 人体発生・比較発生 ニワトリの発生(2)/胎児臓器標本観察 大実習室1,3 (統合教育学修センター基礎科学 石井、浦瀬) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作)								
	6/12水	(講義) 生体画像の基本-9 画像解剖③ 心、大血管 303講義室 (画像診断学・核医学 長尾)	(講義) 病因と病態-17 腫瘍(4) 303講義室 (病理学 増井)	(実習) 病因と病態-3 腫瘍 大実習室3 (病理学 倉田、増井、山本、加藤、岡村)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55						
	6/13木	(講義) 生体画像の基本-10 画像の成り立ち④ シンチカメラ、SPECT、PET 303講義室 (画像診断学・核医学 金子恒一郎)	(講義) 人体発生・比較発生-20 発生学概論・ヒトの発生と遺伝 303講義室 (小児科学 竹下)	(TBL) 自己学習	(TBL) 課題1-1 PC室1 (生理学 中村)(衛生学公衆衛生学 有末、三木) (病理学(人体病理学) 加藤)(顕微解剖学 菊田)	(TBL) 自己学習						
	6/14金	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-7 チーム医療(7) 「検査に携わる職種、部門を知る」 303講義室 (統合教育学修センター 辻村) (中央検査部 三浦)	(講義) 人体全体構造-32 顔の浅層、胃、小腸、大腸、膀胱、脾臓 303講義室 (解剖学 藤枝)	(実習) 人体全体構造-21 顔の浅層、胃、小腸、大腸、膀胱、脾臓 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)								
	6/15土											

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 11 週	6 / 17 月	(講義) 生体画像の基本-11 画像解剖④ 肺、縦隔、乳腺	(講義) 人体全体構造-33 下顎底、咀嚼筋、肝臓、 腎臓	(実習) 人体全体構造-22 下顎底、咀嚼筋、肝臓、腎臓	303講義室	303講義室	解剖実習室	(解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)					
		(画像診断学・核医学 坂井)	(解剖学 藤枝)										
	6 / 18 火	(講義) 病因と病態-18 炎症と創傷治癒(1)	(講義) 人体全体構造-34 側頭下窩と舌周辺、横隔膜、 腰神経叢	(実習) 人体全体構造-23 側頭下窩と舌周辺、横隔膜、 腰神経叢	303講義室	303講義室	解剖実習室	(解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)					
		(病理学 倉田)	(解剖学 本多)										
	6 / 19 水	(講義) 生体画像の基本-12 画像解剖⑤ 脊椎、脊髄	(講義) 生体画像の基本-13 画像解剖⑥ 大脳、小脳、脳幹、脳血管、 脳脊髄	(講義) 病因と病態-19 炎症と創傷治癒(2)	(講義) 病因と病態-20 炎症と感染症	303講義室	303講義室	303講義室	303講義室	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55		
	(画像診断学・核医学 阿部)	(画像診断学・核医学 鈴木)	(病理学 倉田)	(病理学 倉田)									
6 / 20 木	(講義) 生体画像の基本-14 画像解剖⑦ 肝、胆、脾、膵	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-8 チーム医療(8) 「医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る」	(TBL)	(TBL)	303講義室	303講義室	自己学習	課題1-2 PC室1			自己学習		
	(画像診断学・核医学 森田)	(統合教育学修センター 辻村)(医療福祉相談室 綱島)(入退院支援室 大塚)							(生理学 中村)(衛生学公衆衛生学 有末、三木)(病理学(人体病理学) 加藤)(顕微解剖学 菊田)				
6 / 21 金		(講義) 人体全体構造-35 固有背筋と脊髄	(実習) 人体全体構造-24 固有背筋と脊髄										
		303講義室	解剖実習室										
		(解剖学 本多)	(解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)										
6 / 22 土													

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 12 週	6 / 24 月		(講義) 人体全体構造-36 頭部離断、咽頭、甲状腺、喉頭 303講義室 (解剖学 本多)		(実習) 人体全体構造-25 頭部離断 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)							
	6 / 25 火		(講義) 人体全体構造-37 生殖器、会陰 303講義室 (解剖学 本多)		(実習) 人体全体構造-26 咽頭、甲状腺、喉頭、生殖器、会陰 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)							
	6 / 26 水				(実習) 病因と病態-4 炎症 大実習室3 (病理学 倉田、増井、山本、加藤、岡村)		(選択科目) 15:20～16:30		(選択科目) 16:45～17:55			
	6 / 27 木		(講義) 生体画像の基本-15 画像解剖⑧ 泌尿、生殖器、腹腔、後腹膜 303講義室 (画像診断学・核医学 森田)		(講義) 「至誠と愛」の実践学修-9 利他を考える 303講義室 (統合教育学修センター 西井)	(講義) 人体全体構造-38 鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経 303講義室 (解剖学 藤枝)						
	6 / 28 金				(実習) 人体全体構造-27 鼻腔と口蓋、骨盤の血管・神経 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔭池)							
6 / 29 土												

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 13 週	7 / 1 月		(講義) 人体全体構造-39 眼窩、骨盤内臓 303講義室 (解剖学 藤枝)		(実習) 人体全体構造-28 眼窩、骨盤内臓 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)							
	7 / 2 火		(講義) 人体全体構造-40 耳、関節 303講義室 (解剖学 藤枝)		(実習) 人体全体構造-29 耳、関節 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)							
	7 / 3 水		(講義) 生体画像の基本-16 画像解剖⑨ 頭頸部(副鼻腔、唾液 腺、甲状腺、咽頭、喉頭) 303講義室 (画像診断学・核医学 坂 井)		(講義) 治療の基礎-19 生体と放射線(2) 303講義室 (放射線腫瘍学 金井)	(講義) 治療の基礎-20 人体と放射線 303講義室 (放射線腫瘍学 川井)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55				
	7 / 4 木		(講義) 国際コミュニケーション-5 英語医学論文入門(夏の 宿題に向けて) 303講義室 (統合教育研修センター基礎 教育学 佐藤)		(TBL) 自己学習	(TBL) 課題1-3 PC室1 (生理学 中村)(衛生学公衆衛生学 有末、三木) (病理学(人体病理学) 加藤)(顕微解剖学 菊田)			(TBL) 自己学習			
	7 / 5 金				(実習) 人体全体構造-30 納棺 解剖実習室 (解剖学 藤枝、本多、早川、齋藤、蔦池)							
7 / 6 土												

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI						
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
7 / 8 月												
7 / 9 火												
7 / 10 水									(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55		
7 / 11 木												
7 / 12 金					(試験) 治療の基礎 13:00～14:30 302-3講義室							
7 / 13 土												

第
14
週

令和6年度 Segment3 講義・実習時間割表

	I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第 15 週	7 / 15 月	海の日										
	7 / 16 火				(試験) 病因と病態 13:00～14:30 302-3講義室							
	7 / 17 水				(試験) 人体発生・比較発生 13:00～14:30 302-3講義室							
	7 / 18 木				(試験) 人体全体構造 13:00～14:30 302-3講義室							
	7 / 19 金				(試験) 生体画像の基本 13:10～14:30 302-3講義室		(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修-10 (14:50～17:45) チーム医療(9)「実習前ワークショップ」 302-3講義室					
	7 / 20 土											

(統合教育学修センター 辻村、浦瀬)